

「わった〜バス利用促進乗車体験事業」の効果検証

沖縄県 企画部 交通政策課

【中間報告】（精査の結果、変更の可能性あり）

1.わった～バス利用促進乗車体験事業の概要

わった～バス利用促進乗車体験事業について



事業目的

県民に路線バスを利用する機会を提供することで、車にはないバスならではの良さを体験してもらい、過度な自家用車利用から適度なバス利用への転換を促進する。

取組概要

- 路線バスの運賃を終日無料
- 9月4日（水）から29日（日）までの毎週水曜日と日曜日の 計8日間

対象について

○ 沖縄県内（離島含む）の一部を除く、ほぼ全ての路線バス及びコミュニティバスを対象とする。

- ▶ 琉球バス、那覇バス、沖縄バス、東陽バス、東京バス等の本島を運行する路線バス
- ▶ 伊江島観光バス、宮古協栄バス、東運輸等の離島を運行する路線バス
- ▶ 県内市町村が運行するコミュニティバス

※ 「リムジンバス」、「定期観光バス」、「高速道路を走行するバス（系統番号111番や117番等）」等は対象外

※ なお、対象路線の最終的な確定に向けて、現在、バス事業者及び市町村と調整中

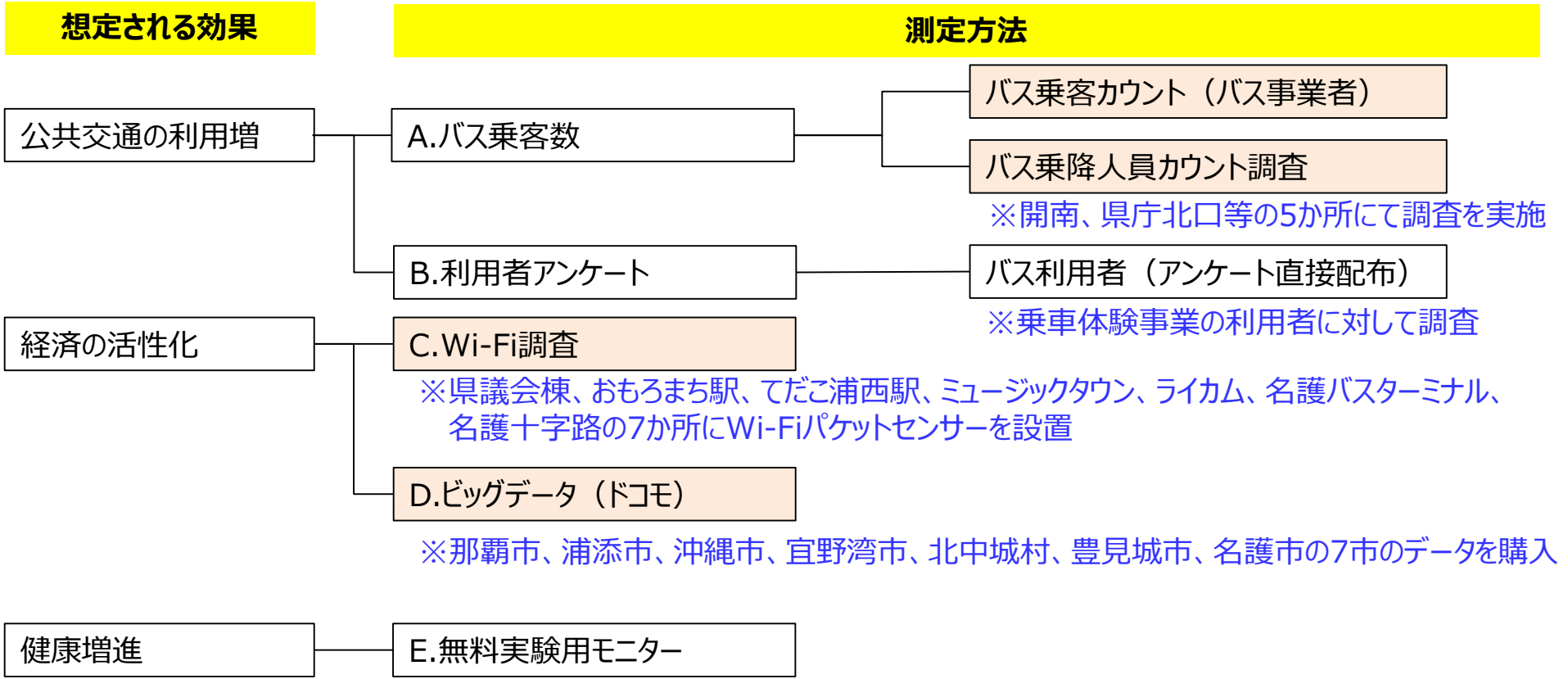
【お問い合わせ】
交通政策課
098-866-2045



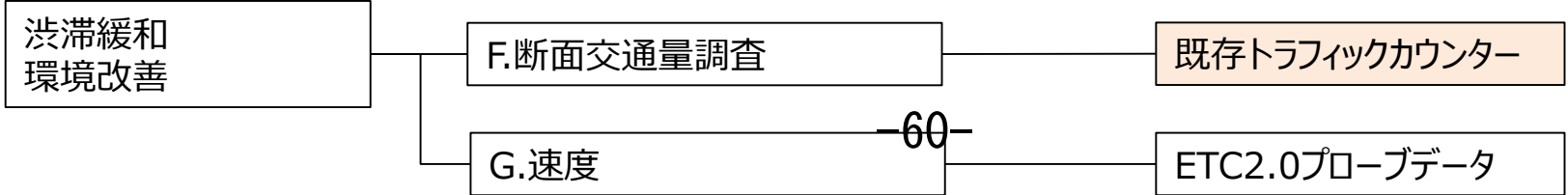
2.「わった〜バス利用促進乗車体験事業」効果の測定と分析

効果の測定方法

✓ 乗車体験事業について、想定される効果を検討し、効果検証のための方法を以下のように設定した。



※沖総局にて取得&分析

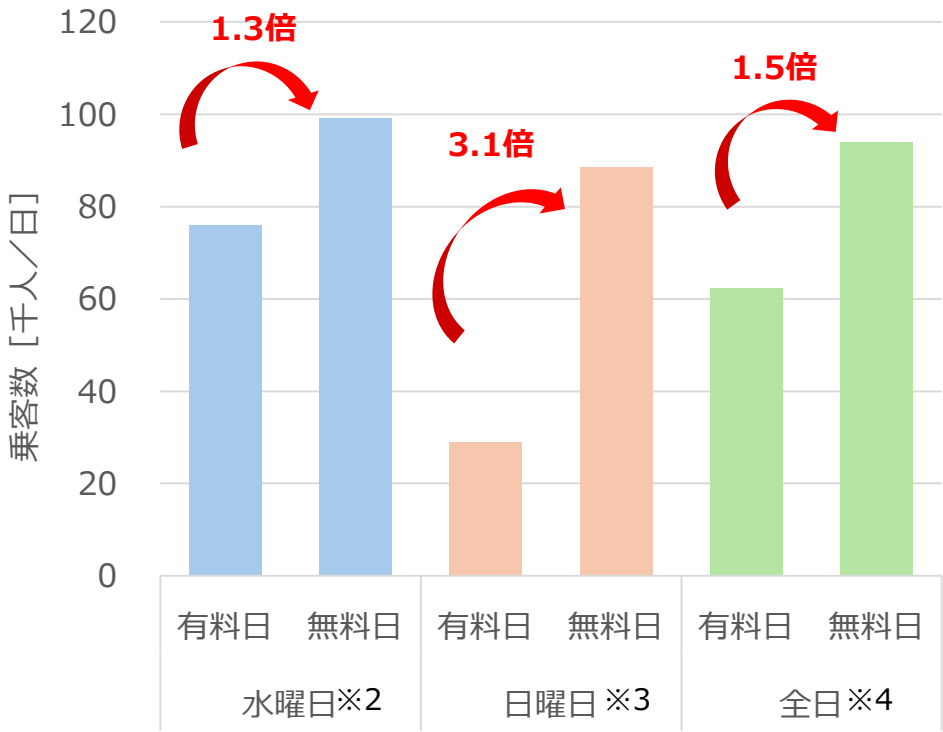


3.バス乗客数の変化

- ✓ 乗車体験事業に参加した本島の路線バス事業者における乗客数の推移は以下の通り。
- 無料日の水曜日平均では1.3倍、日曜日平均では3.1倍、水曜日と日曜日平均では1.5倍に増加した。

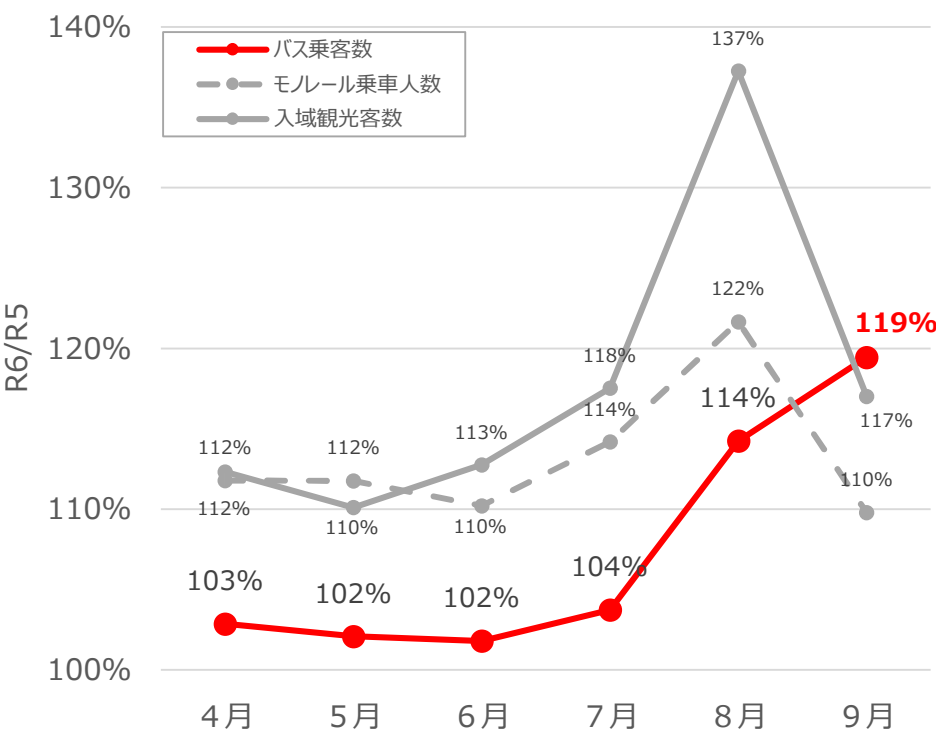
• 前年同月と比較すると、8月は14%増加に対して、9月は19%増加した。（これは、観光客数が8月で37%増、9月で17%増であり、バス乗客数の増加率と逆相関になっていることから、本事業の効果によるものと推定できる。）

バス乗客数の変化 ※1



※1 沖縄本島協力バス事業者のバス乗車人数計
※2 【無料日】9/4、9/11、9/18、9/25の水曜日平均、【有料日】9/3、9/10、9/17、9/24の火曜日平均
※3 【無料日】9/8、9/15、9/22、9/29の日曜日平均、【有料日】9/1、9/16、9/12の日曜日平均
※4 【無料日】無用日8日間平均、【有料日】無料日以外の9月の22日間平均

バス乗客数等の前年同月比の推移 ※5



※5
バス乗客数：沖縄本島協力バス事業者のバス乗車人数計
モノレール乗車人数：沖縄県 乗車人数の推移
入域観光客数：令和6年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

3.バス乗客数の変化

- ✓ バスの乗車体験実施において、乗客数の変化について、下表に示す箇所において調査を通り実施した。
- ・ バス乗降調査対象バス停において、全体の利用者数は無料日の平日では2.8倍、休日では3.1倍に増加した。

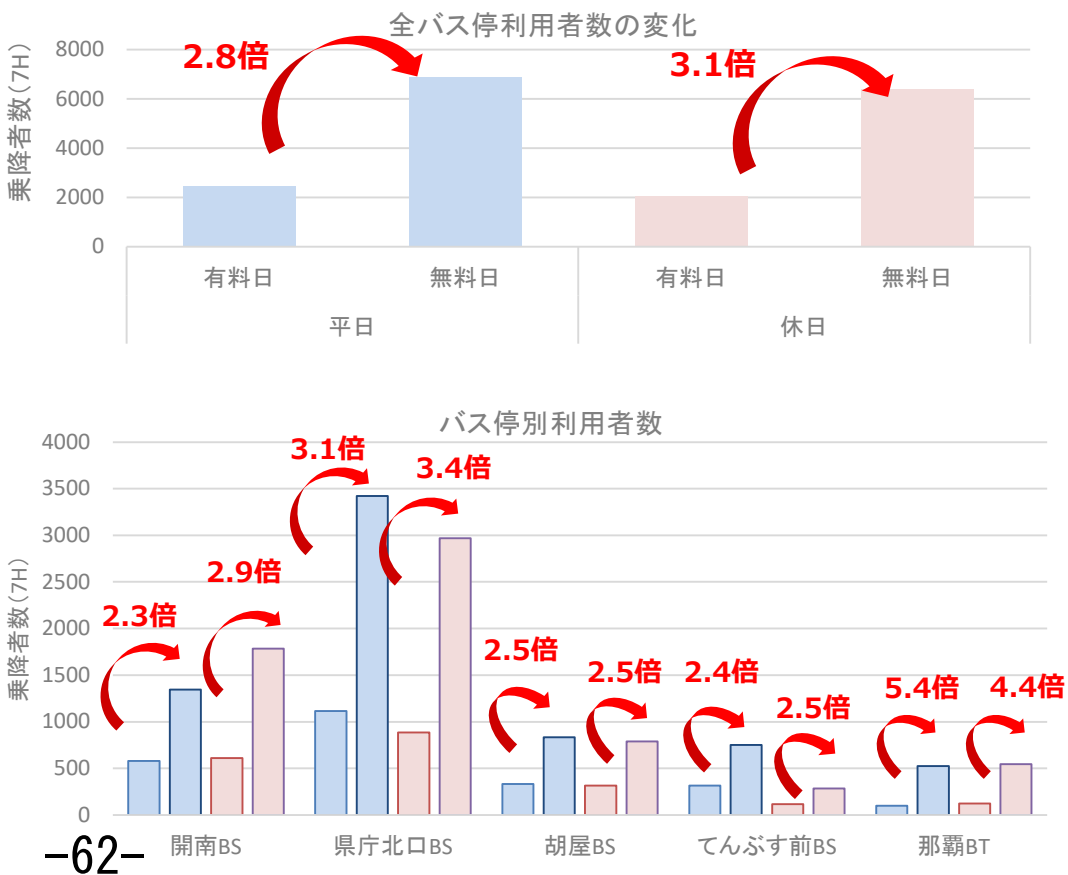
・ バス停毎に比較すると、開南BS、県庁北口BSでは約3倍増加、胡屋BS、胡屋BS、てんぶすBSは約2.5倍、那覇市の平日では5.4倍増加した

■ バス乗降調査実施概要

	調査対象バス停	調査日時
①	開南バス停	【平日】
②	県庁北口バス停	・ 乗車体験日 令和6年9月25日（水）
③	てんぶす前バス停（三越前）	・ 乗車体験外 令和6年11月13日（水）
		・ 調査時間帯 9時～16時（7時間）
④	胡屋バス停	【休日】
		・ 乗車体験日 令和6年9月29日（日）
		・ 乗車体験外 令和6年11月24日（日）
		・ 調査時間帯 9時～16時（7時間）
⑤	那覇バスターミナル	・ 調査時間帯 ①②③④：9時～16時（7時間） ⑤：5時～23時（18時間）
		・ 那覇バスターミナル調査対象バス： 名護西線（20）、名護東線（77） 名護西空港線（120）

- 通勤・通学の時間帯を避け、一般利用が把握できると考えられる9時～16時に設定
- 乗車体験日においては、バスの長距離利用が多いとの情報から、那覇BTにおいて20、77、120を調査

■ 利用者数の変化



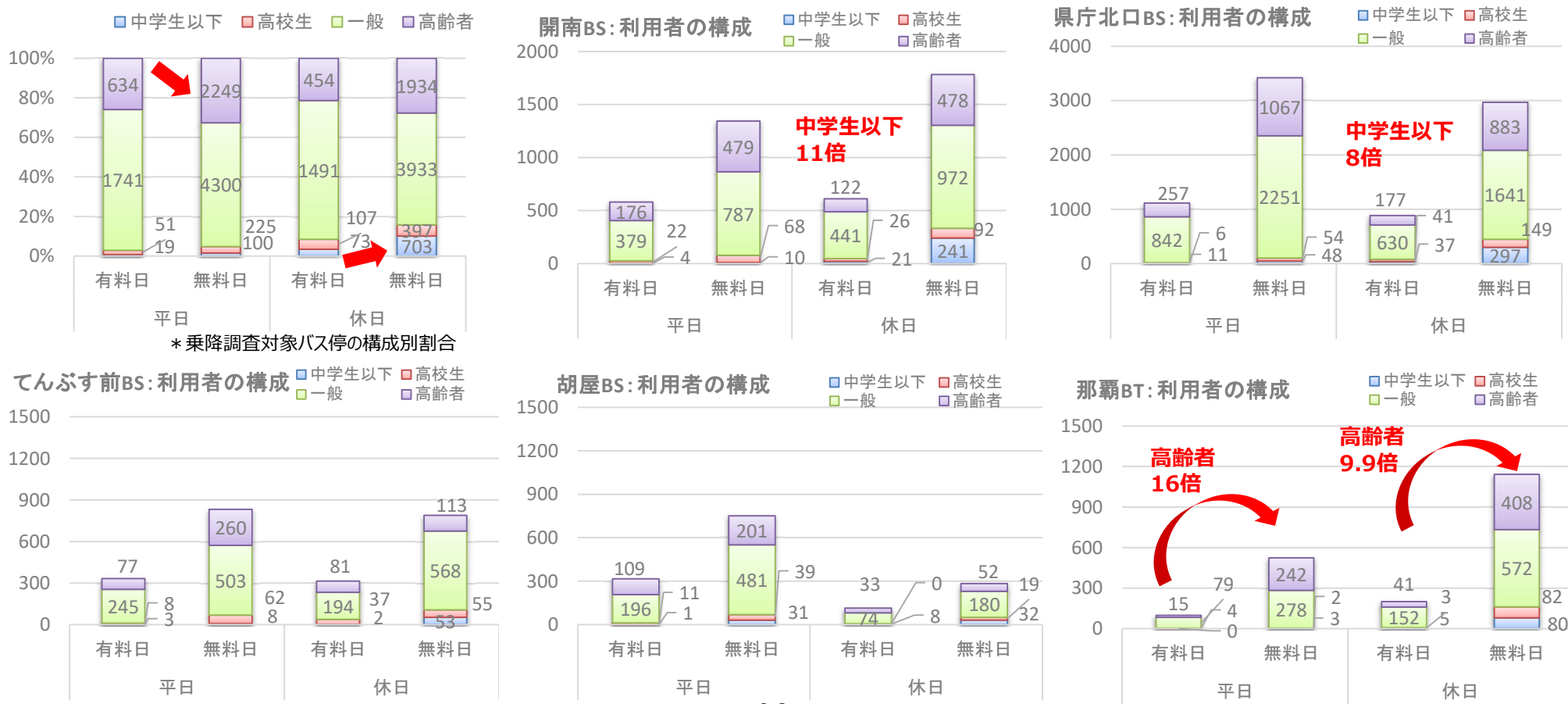
【中間報告】（精査の結果、変更の可能性あり）

3.バス乗客数の変化

- ✓ バスの有料日及び無料日における構成の変化について、バス停別に整理した。
- ・ 平日無料日では高齢者の利用割合が増加し、休日では高校生及び中学生以下の利用割合が増加。

・ バス停毎に比較すると、開南BS及び県庁北口BSの休日中学生以下の利用割合が約10倍、那覇バスターミナルでは平日、休日の高齢者利用割合が10倍以上増加した。

■ 構成別の利用者割合の変化



※乗降調査における「年代」の分類は、調査員の目視による

4.利用者のアンケート結果

- ✓ 利用者アンケートでは、乗車体験事業の認知度、バスを利用した目的、乗車体験事業の継続意向などについて調査をした。
- ✓ バス車内にQRコードを掲示し、インセンティブ（ギフトカード）をつけてアンケート調査へ誘導した。
- ✓ 利用者アンケートは、4,188人から回答を得た。回収結果は、以下の通り。
 - 今回のアンケートの回収数は、30～59歳の女性の回収数が多く、高齢者の回答が少ない。
 - 年齢階層別に結果を見るほどのサンプルは無いが、「男性計」「女性計」や「中部」「南部」であれば1,000サンプル程度確保できているため、性別や地域別の分析には耐えられると考えられる。

性別・年齢階層別アンケート回収数

	男性	女性	計
10～19歳	210	332	542
20～29歳	185	316	501
30～39歳	304	515	819
40～49歳	431	624	1,055
50～59歳	392	479	871
60～69歳	142	182	324
70歳以上	24	52	76
合計	1,688	2,500	4,188

性別・地域別アンケート回収数

	北部	中部	南部	宮古	八重山	県外	計
10～19歳	61	230	237	2	2	10	542
20～29歳	23	195	244	5	9	25	501
30～39歳	36	298	439	8	16	22	819
40～49歳	41	388	591	11	10	14	1,055
50～59歳	26	283	516	4	14	28	871
60～69歳	16	107	192	0	1	8	324
70歳以上	1	32	43	0	0	0	76
合計	204	1,533	2,262	30	52	107	4,188

アンケート調査の回答を促すために配布したカード
表 W148mm×H100mm



裏 W148mm×H100mm



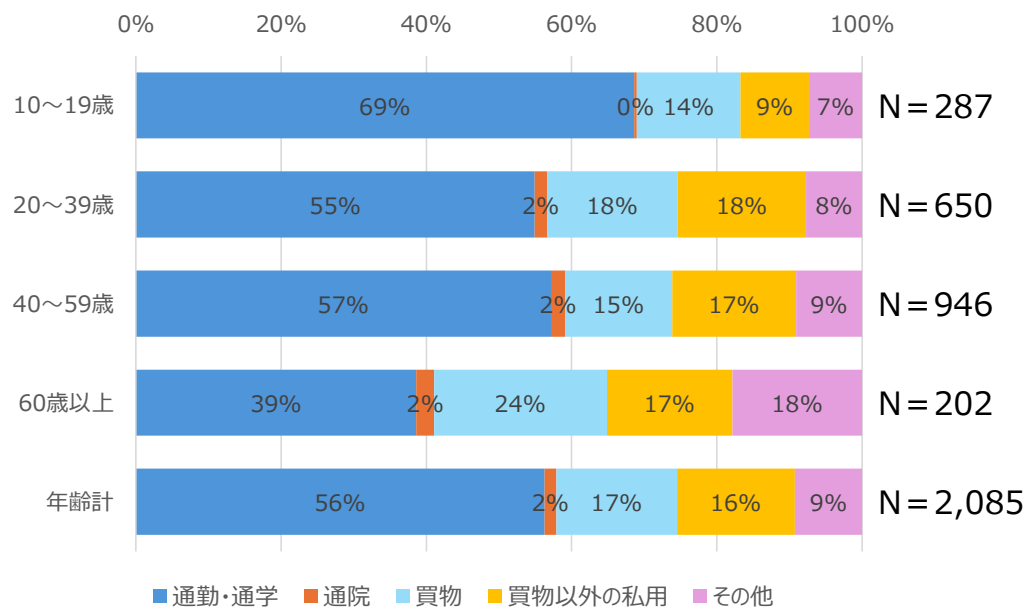
【中間報告】（精査の結果、変更の可能性あり）

4.利用者のアンケート結果

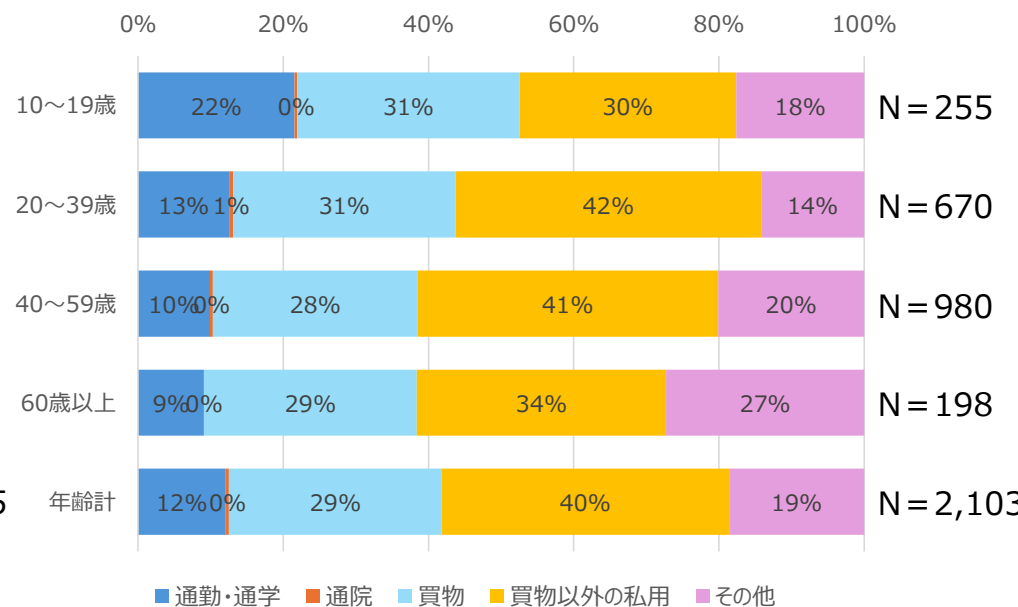
- ✓ 乗車体験事業中は、平日は「通勤・通学」、休日は「買物」・「買物以外の私用」にて利用された。
- 10代は通学時の交通手段としてバスを利用した。
 - 高齢者は、平日・休日ともに買物等にてバスを利用した。

今回（無料乗車体験時）の主な利用目的は何ですか？

■ 平日



■ 休日

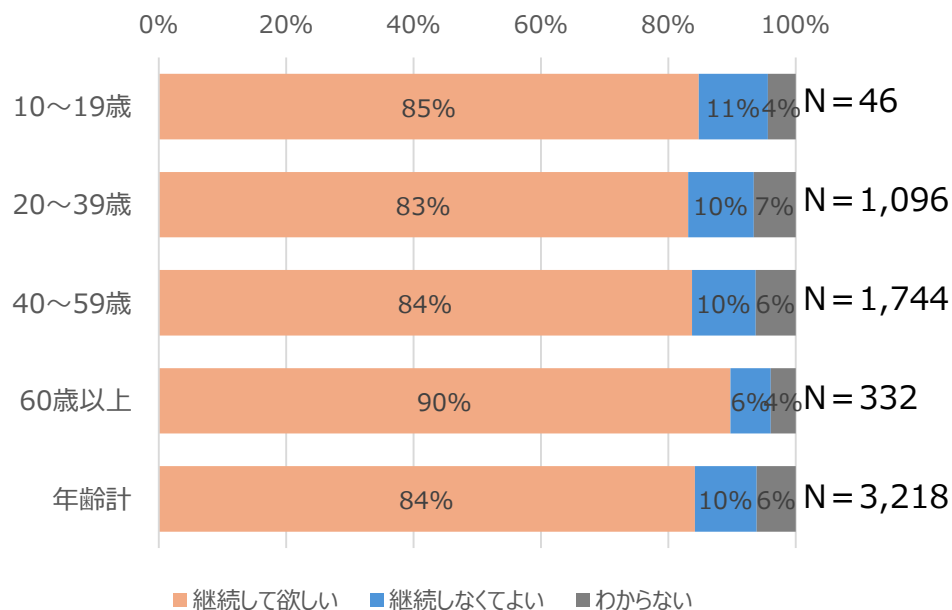


4.利用者のアンケート結果

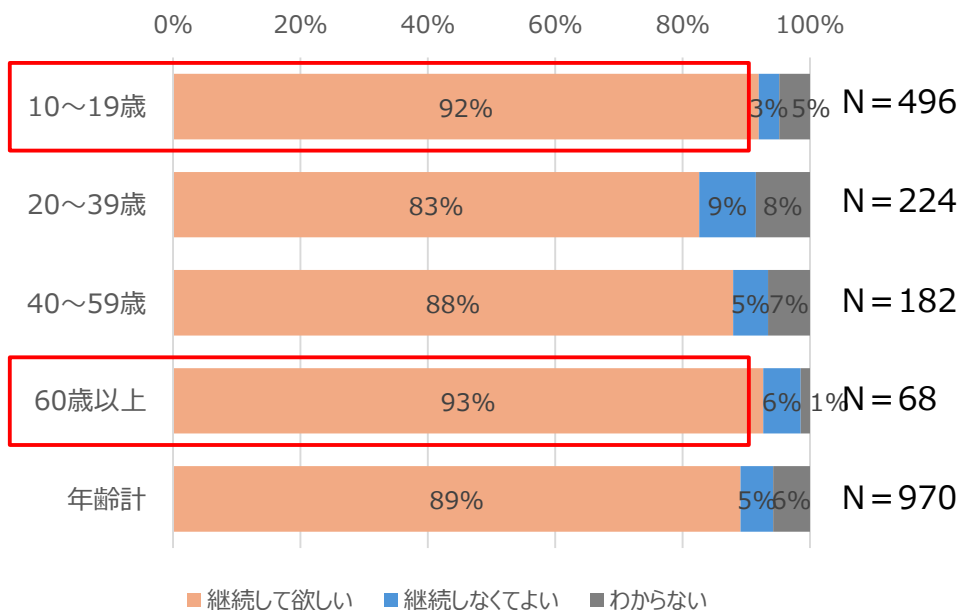
- ✓ 乗車体験事業の継続意向は、全年齢層において高く8割以上を占めている。
- ✓ 自動車運転免許を保有している20～59歳の1割程度は、乗車体験事業の継続を望んでいない。
 - ・ 自動車運転免許なしの10代と高齢者が最も高い。
 - ・ 自動車を自由に利用できない（免許がない）層にとって、有意義な施策と考えられる。

今回のバスの乗車体験事業は継続して実施して欲しいですか？

自動車運転免許あり



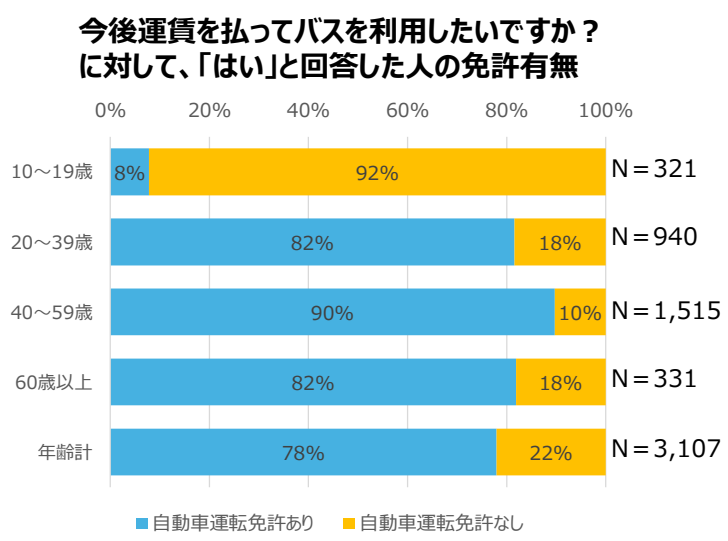
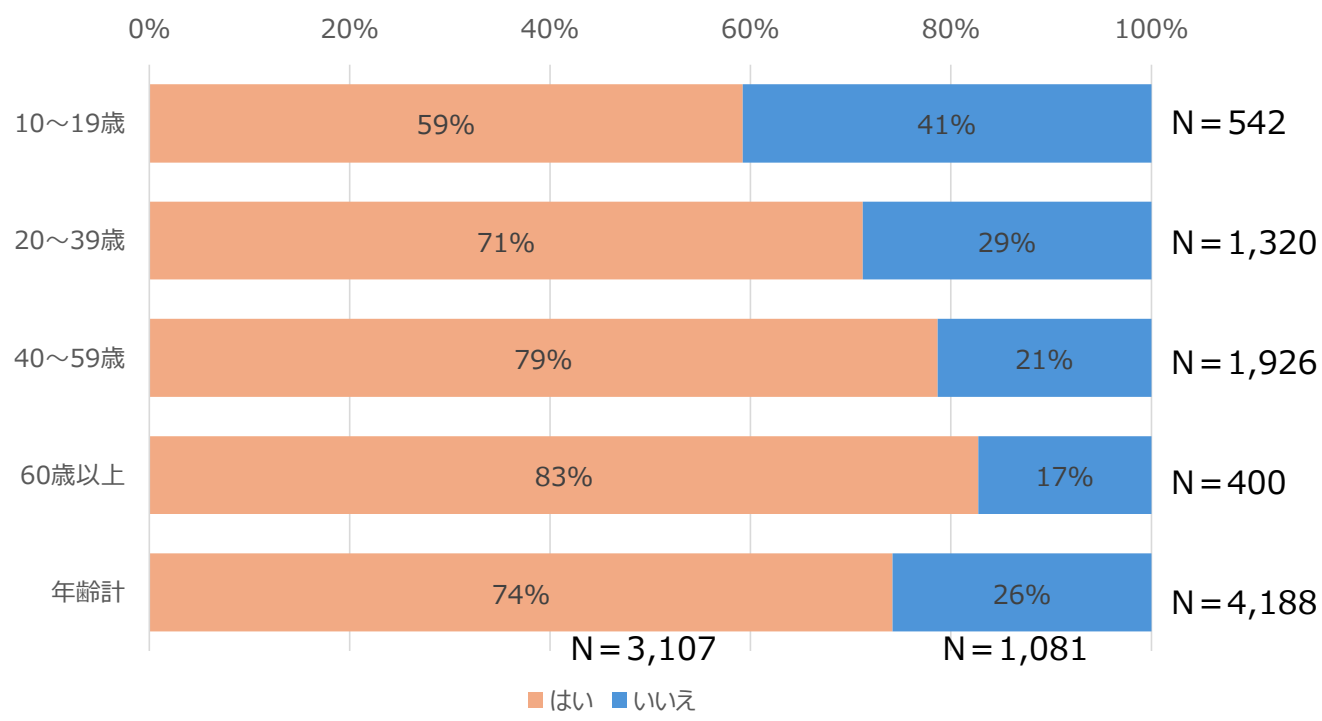
自動車運転免許なし



4.利用者のアンケート結果

- ✓ 年齢階層が上がるほど、運賃を支払ってもバスを利用したいと考えている。
- 60歳以上では、83%が運賃を払っても利用したいと考えている。
 - 運賃を払ってバスを利用したいと回答した人のうち、22%は免許を保有していない。

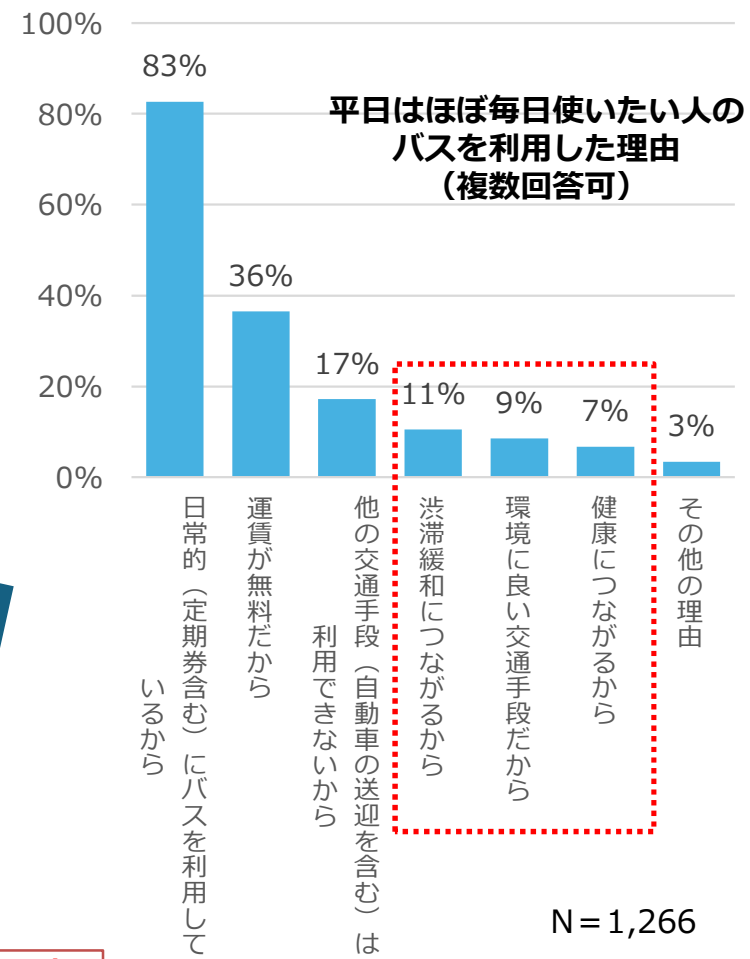
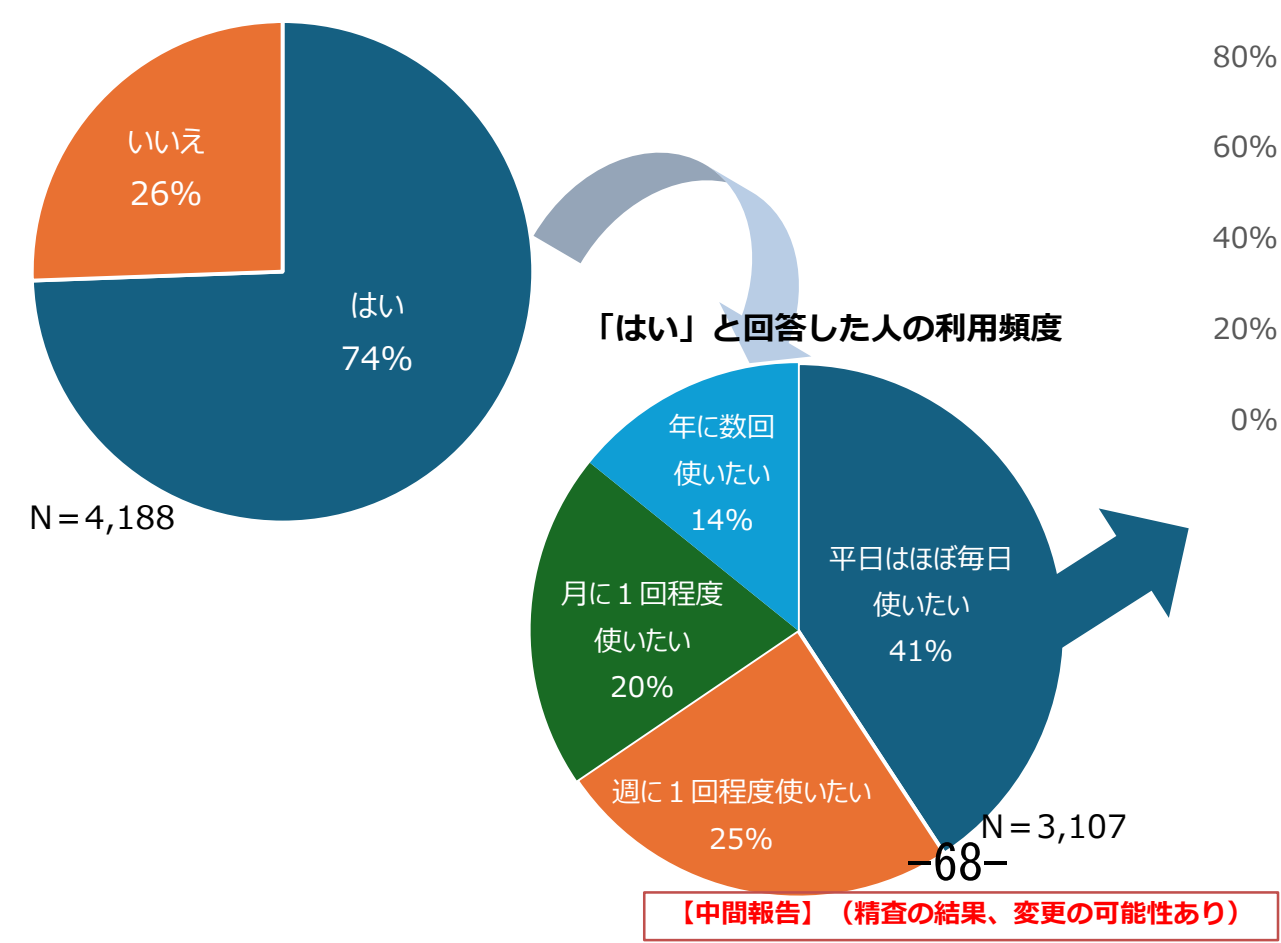
今後運賃を払ってバスを利用したいですか？



4.利用者のアンケート結果

- ✓ 「今後運賃を払ってバスを利用したい」と回答した人のうち、バスを利用したい頻度は、「毎日使いたい」が41%であった。
- 毎日利用したい人の8割は、現状でも日常的に利用している人であった。一方、1割程度の方は、渋滞緩和・環境・健康の視点からバス利用を考えていることがうかがえる。

今後運賃を払ってバスを利用したいですか？

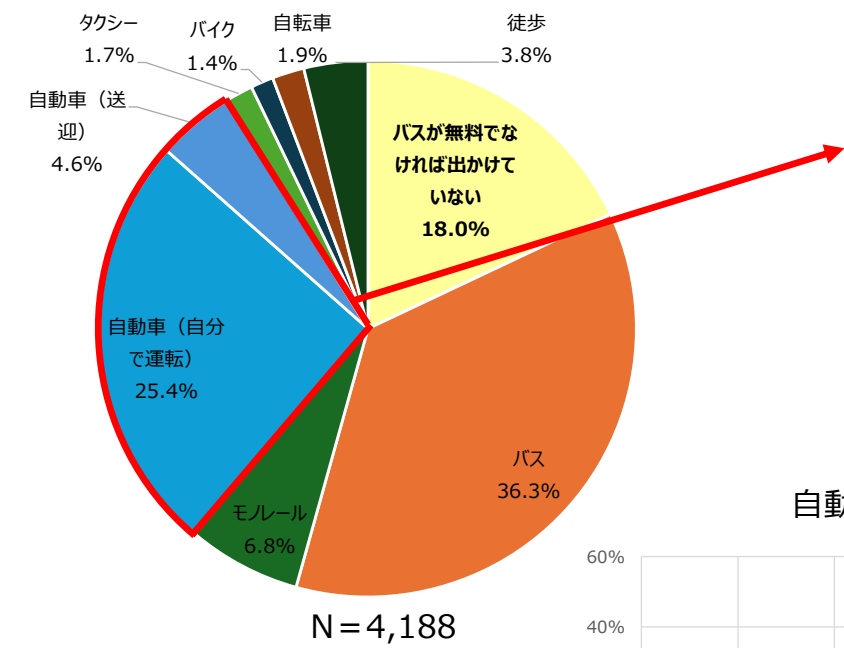


4.利用者のアンケート結果

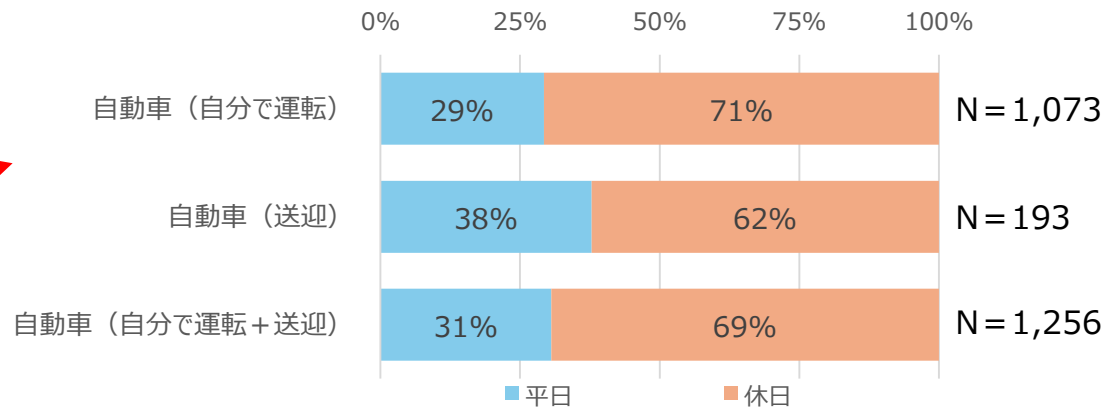
✓ 「バスが無料であればどの交通手段を使っていたか」の設問にて「自動車（自分で運転）：25.4%」と「自動車（送迎）：4.6%」の割合は、合計30%であった。

- 無料体験事業実施中にバスを利用した人のうち3割が自動車からバスに転換したと考えられる。
- 自動車からバスに転換した人は、平日よりも休日に利用している。

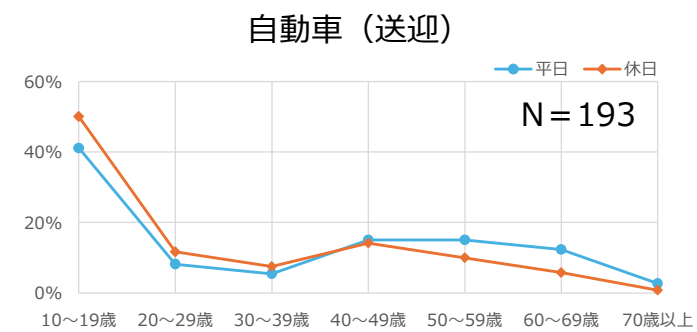
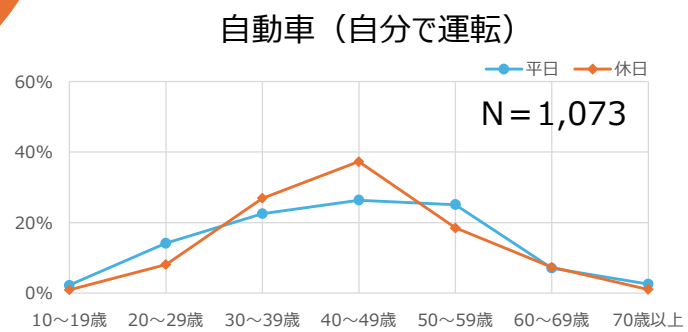
バスが無料であればどの交通手段を使っていたか？



自動車からバスに転換したと思われる人の平休別の割合



自動車からバスに転換したと思われる人の年齢構成

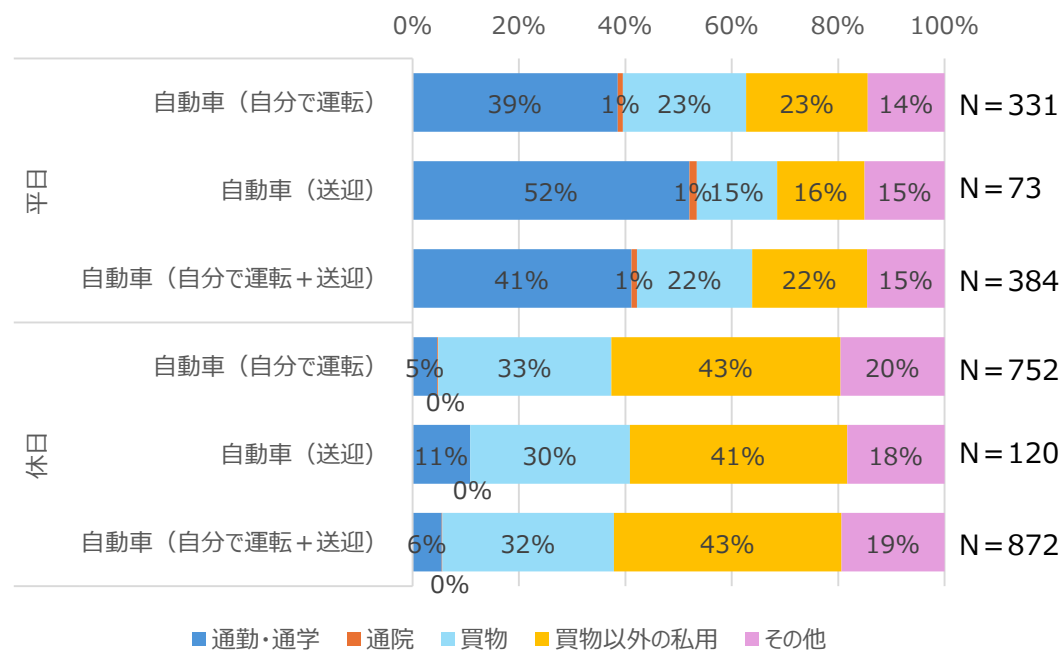


-69-

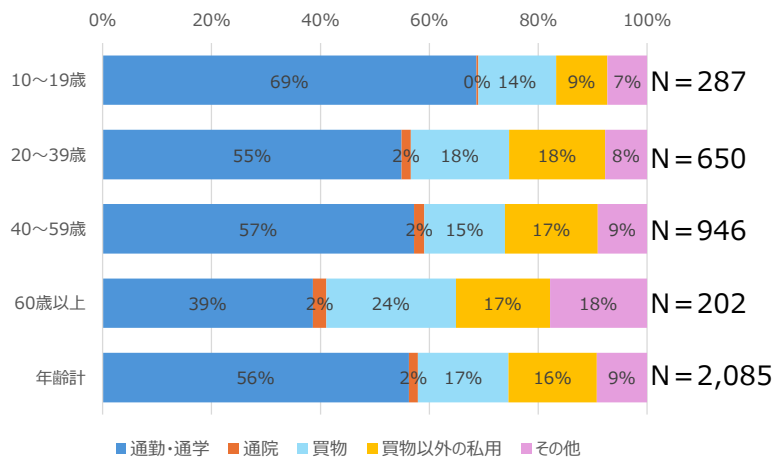
4.利用者のアンケート結果

✓ 「バスが無料であればどの交通手段を使っていましたか」の設問にて「自動車（自分で運転）」と「自動車（送迎）」と回答した人のバスを利用した目的は、手段合計と比較して「通勤・通学」の割合が低い。

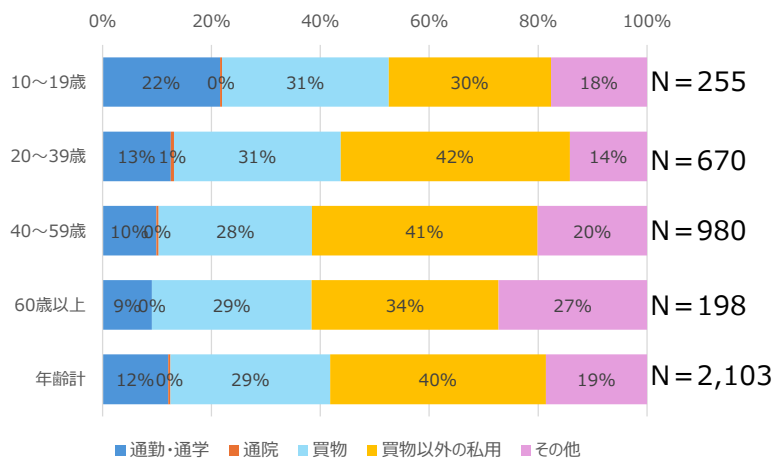
自動車からバスに転換したと思われる人の
平休別目的別構成比



平日



休日



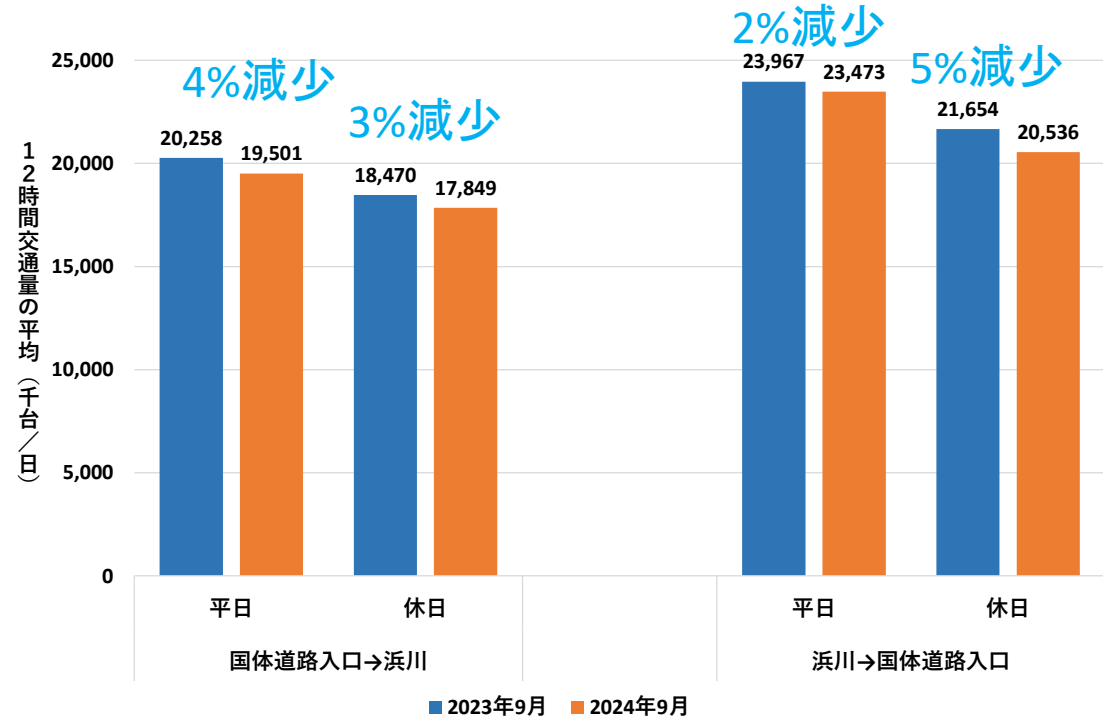
5.トラカンの集計結果

- ✓ 国道58号上の国体道路入口付近の無料体験事業が実施された日の12時間交通量の平均を、平休別上下別で2023年9月の12時間交通量の平均と比較する。
- 平日・休日のそれぞれの日で上下ともに数%程度の減少がみられたが、無料体験事業の実施が交通状況に与えた影響は大きい。

トラカンの集計地点及び向き



12時間交通量の平均の比較



※JARTICよりダウンロードした一般道路の断面交通量のデータを活用 (<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>)
※7時から19時までの交通量を12時間交通量とした。
※日曜りと祝日を休日とした

5.トラカンの集計結果

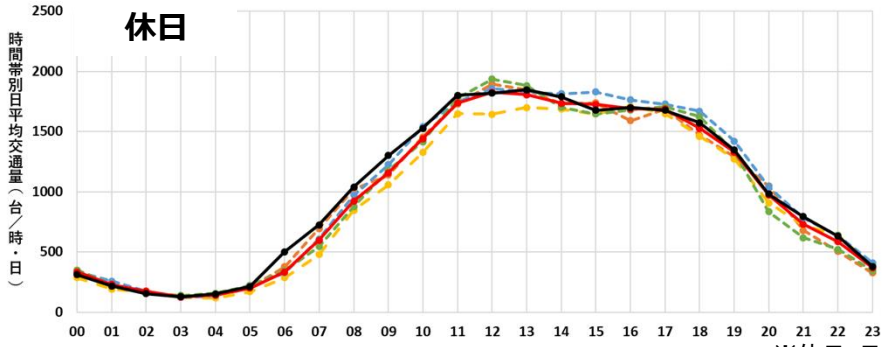
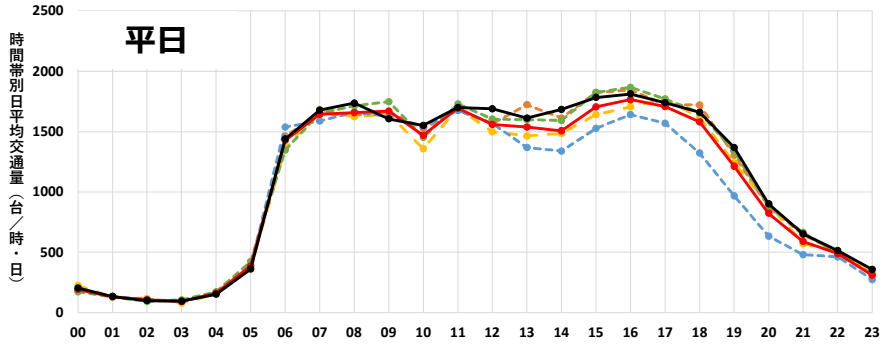
- ✓ 無料体験事業が実施された2024年9月の水曜日の12時間交通量の日平均は、昨年2023年9月の平日の12時間交通量の日平均と比較して、約4%減少ではほぼ変化は見られない。
- ✓ 同様に、2024年9月の日曜日（9月1日除く）の12時間交通量の日平均は、2023年9月の休日の12時間交通量の日平均と比較して、約3%減少ではほぼ変化は見られない。
- ✓ 時間帯別では、休日の午前に1割程度の交通量の減少がみられる時間帯がある。

＜国体道路入口から浜川における時間帯別交通量＞



トラカンの集計地点及び向き

※JARTICよりダウンロードした一般道路の断面交通量のデータを活用
(<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>)
※7時から19時までの交通量を12時間交通量とした。
※日曜日と祝日を休日とした

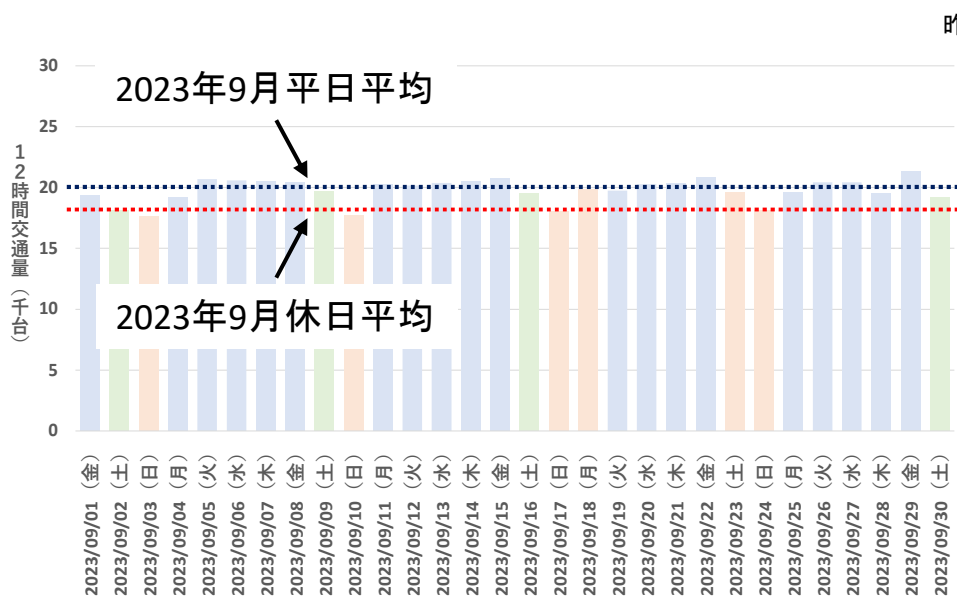


※休日：日・祝日

5.トラカンの集計結果

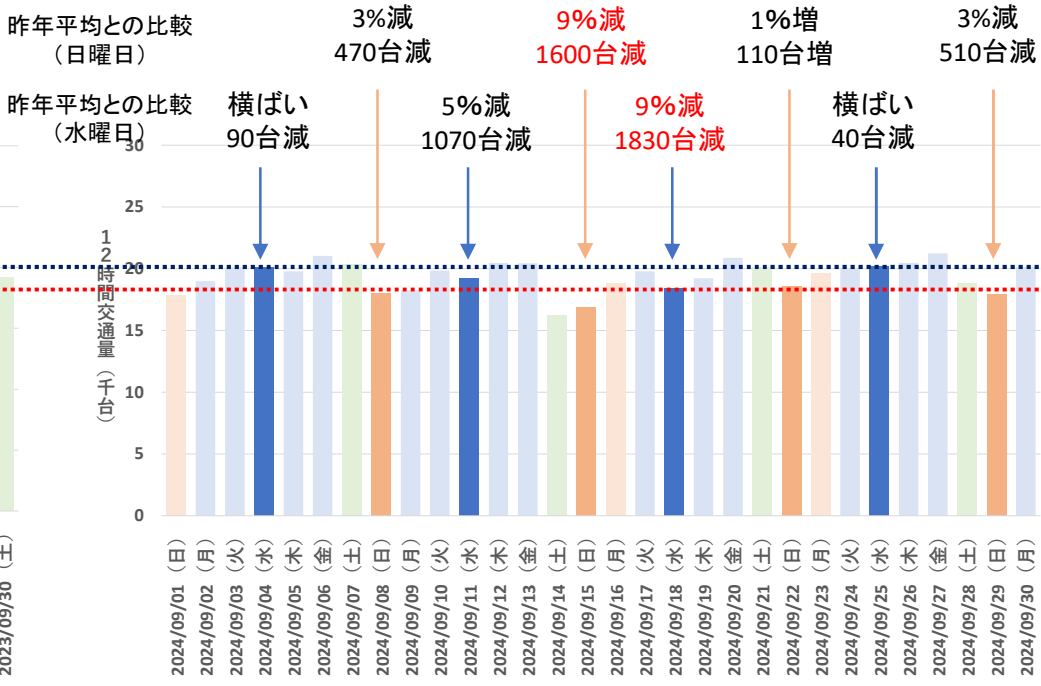
- ✓ 日単位で12時間交通量を比較すると、9月15日（日）で9%減少、9月18日（水）で9%減少している。
- ✓ 9月15日（日）は、3連休の中日であり天気も晴れていたことから、多くの人が外出の際の交通手段として無料で利用できるバスを選択したことが、交通量減少の一因であると考えられる。
- ✓ 無料体験事業により、バスの利用しやすい条件下では一定の交通行動の変化があったことが示唆される。

＜国体道路入口から浜川における日別12時間交通量＞



2023年9月の日別12時間交通量
(国道58号、国体道路入口→浜川)

2023年9月	平均	最大	最小	分散
平日	20,258	21,284	19,220	524
休日	18,470	19,813	17,630	963



2024年9月の日別12時間交通量
(国道58号、国体道路入口→浜川)

2024年9月	平均	最大	最小	分散
平日	19,934	21,262	18,234	820
休日	18,249	19,654	16,852	884

5.トラカンの集計結果

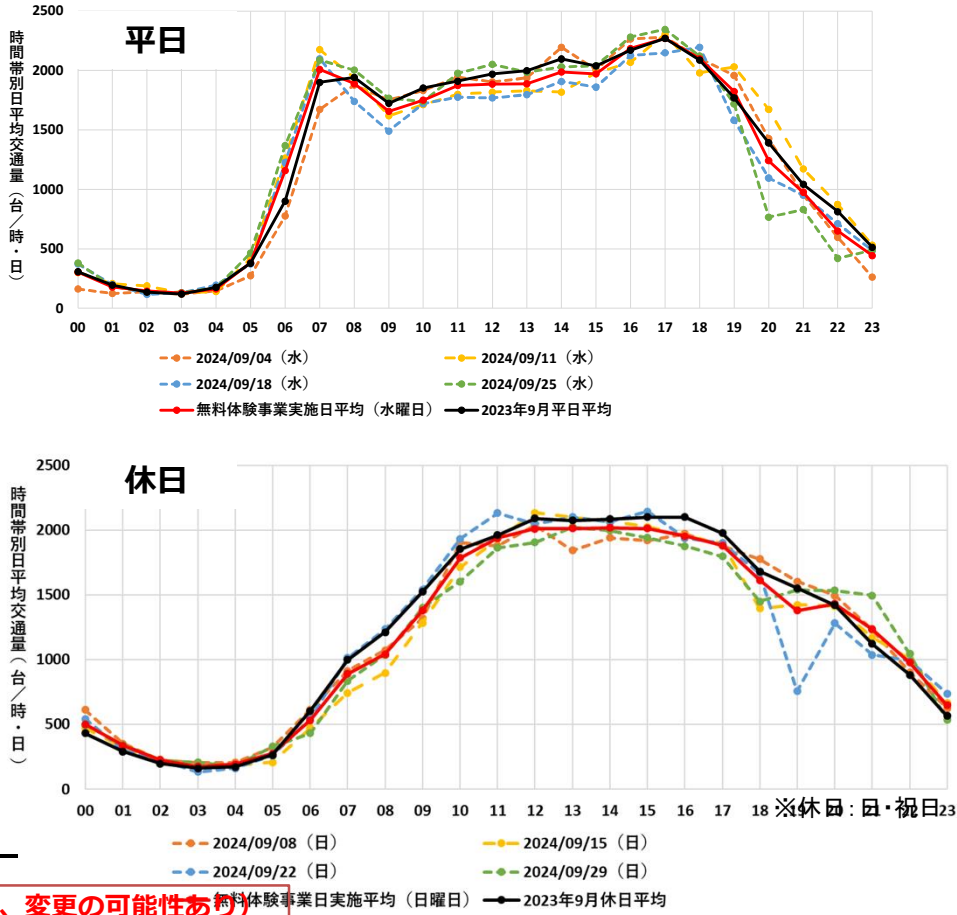
- ✓ 無料体験事業が実施された2024年9月の水曜日の12時間交通量の日平均は、昨年2023年9月の平日の12時間交通量の日平均と比較して、約2%の減少でほぼ変化は見られない。
- ✓ 一方で、2024年9月の日曜日（9月1日除く）の12時間交通量の日平均は、2023年9月の休日の12時間交通量の日平均と比較して、約5%減少している。
- ✓ 時間帯別では、休日の午前に1割程度の交通量の減少がみられる時間帯がある。

＜浜川から国体道路入口における時間帯別交通量＞



トラカンの集計地点及び向き

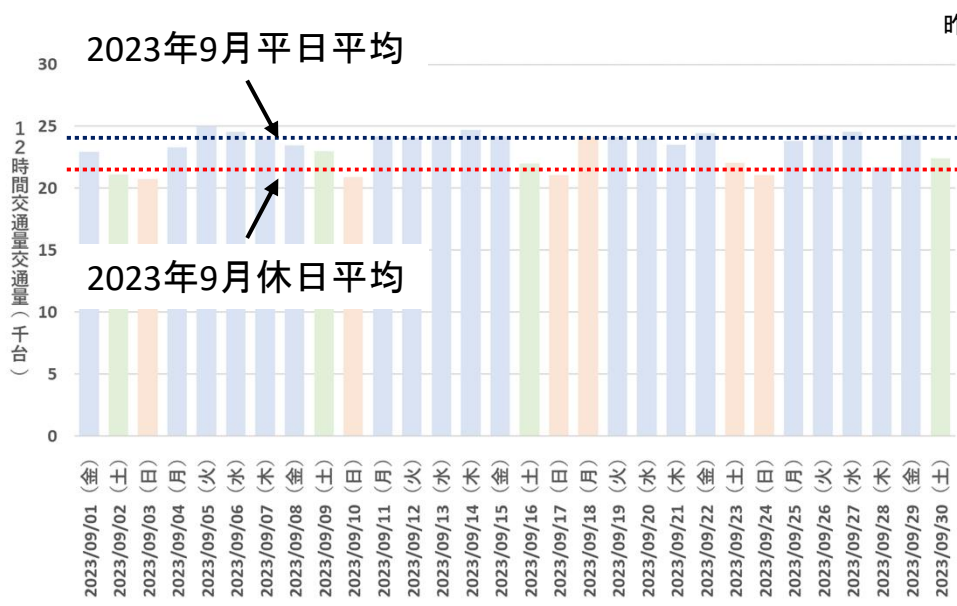
※JARTICよりダウンロードした一般道路の断面交通量のデータを活用
(<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>)
※7時から19時までの交通量を12時間交通量とした。
※日曜日と祝日を休日とした



5.トラカンの集計結果

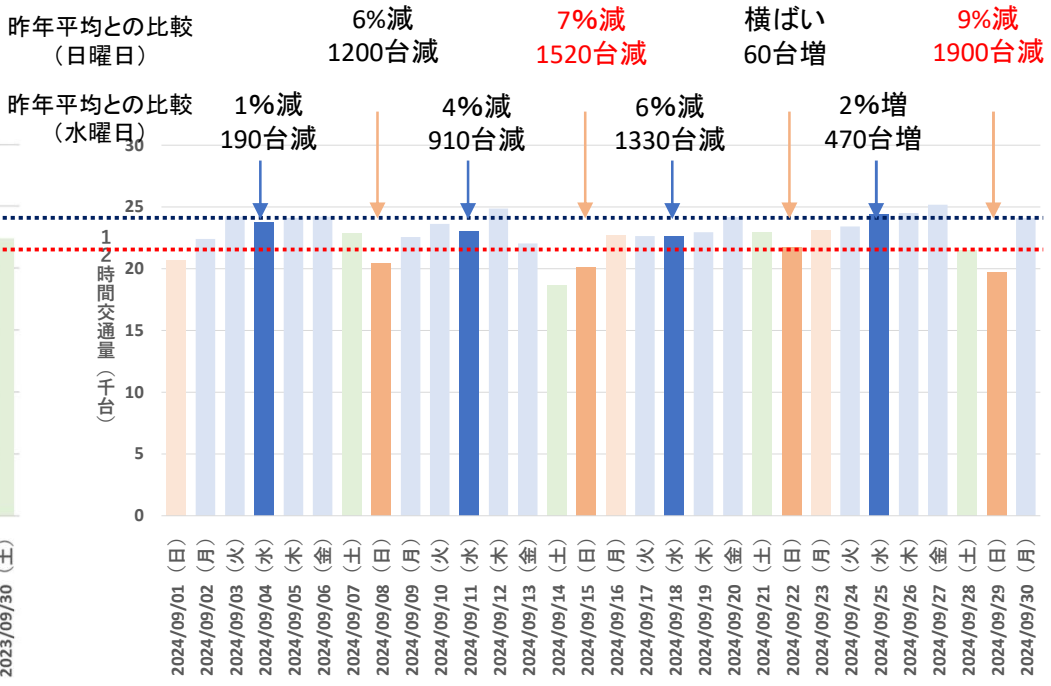
- ✓ 日単位で12時間交通量を比較すると、9月15日（日）で7%減少、9月29日（日）で9%減少している。
- ✓ 9月15日（日）は、逆向きと同様にバスを選択しやすい環境が、交通量減少の一因であると考えられる。
- ✓ 逆向きの交通量変化と同様に、無料体験事業により、バスの利用しやすい条件下では一定の交通行動の変化があったことが示唆される。

＜浜川から国体道路入口における日別12時間交通量＞



2023年9月の日別12時間交通量
(国道58号、浜川→国体道路入口)

2023年9月	平均	最大	最小	分散
平日	23,967	24,974	21,702	724
休日	21,654	24,132	20,732	1,300



2024年9月の日別12時間交通量
(国道58号、浜川→国体道路入口)

2024年9月	平均	最大	最小	分散
平日	23,634	25,194	22,050	907
休日	21,219	23,100	19,728	1,319

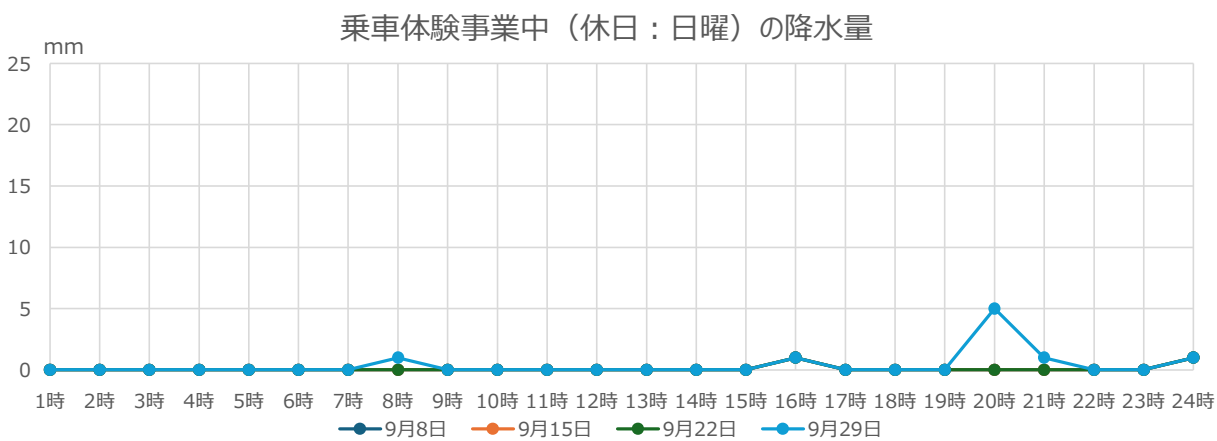
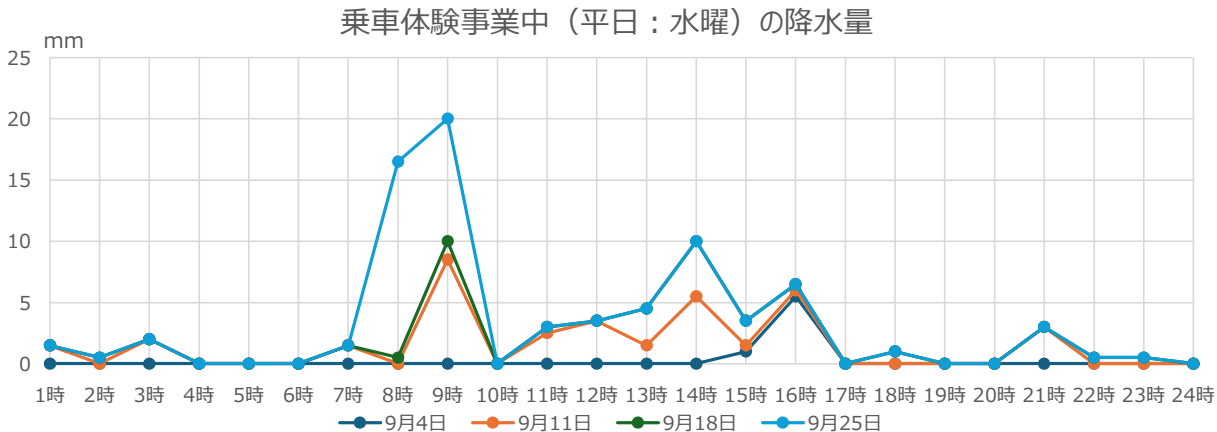
✓ 無料体験事業実施日の天気

9月
September (長月)

日	月	火	水	木	金	土
1 大安	2 赤口	3 友引	4 先負	5 仏滅	6 大安	7 赤口
8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安	13 赤口	14 先勝
15 友引	16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口	20 先勝	21 友引
22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負

日	月	火	水	木	金	土
1 晴 32.6 / 27.5	2 晴 33.2 / 27.1	3 晴のち雨 32.2 / 27.9	4 晴のち雨 32.0 / 27.2	5 雨のち曇 33.5 / 27.3	6 晴 33.3 / 27.1	7 晴のち雨 32.6 / 25.2
8 晴のち雨 32.6 / 26.5	9 雨 28.7 / 27.0	10 雨のち曇 31.4 / 26.8	11 雨のち曇 31.1 / 26.2	12 晴 32.2 / 26.5	13 曇のち雨 31.7 / 27.0	14 曇一時雨 31.7 / 25.8
15 曇のち晴 32.4 / 28.0	16 晴のち雨 32.4 / 28.6	17 晴のち曇 32.2 / 27.6	18 雨 31.1 / 26.5	19 雨のち曇 30.8 / 27.5	20 雨のち晴 32.1 / 25.1	21 晴のち曇 32.1 / 28.2
22 晴のち曇 32.4 / 27.6	23 曇のち晴 32.5 / 27.6	24 雨 30.9 / 28.0	25 曇のち晴 31.7 / 25.1	26 雨のち曇 31.6 / 26.3	27 曇のち雨 32.6 / 27.6	28 雨 28.2 / 25.2
29 曇時々雨 30.1 / 25.9	30 曇のち晴 30.4 / 25.5	1 晴一時雨 31.9 / 27.2	2 曇のち雨 30.9 / 27.3	3 曇のち雨 31.9 / 25.4	4 雨のち曇 29.0 / 25.4	5 曇のち雨 31.0 / 25.5

9月の天気

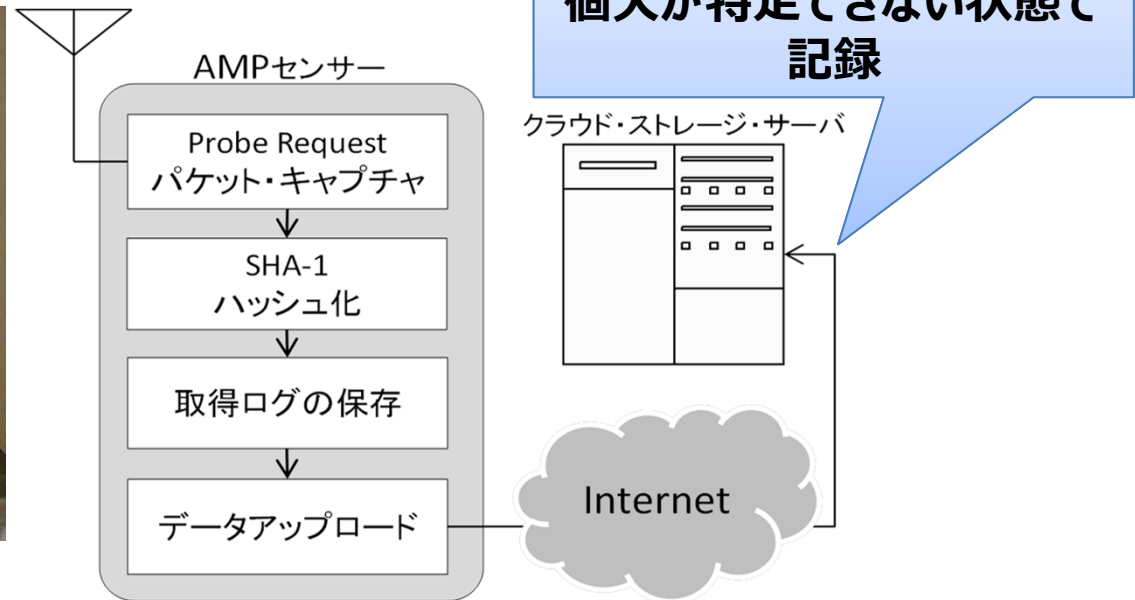


※出典：気象庁HP
(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)

6. Wi-Fiパケットセンサーとは

- スマートフォンをはじめとする多くの電子機器はWi-Fi機能を搭載
- スタインバイ状態でも、Wi-Fi管理パケットを発信
- 発信頻度は、おおむね30秒～2分間隔（機器に依存）
- 機器毎の固有のID（MACアドレス）を匿名化し、個人が特定できない状態で記録

＜Wi-Fiパケットセンサー＞



6. Wi-Fiパケットセンサーとは

Wi-Fiパケットセンサーで以下のデータを取得

- ハッシュ化／匿名化後のMACアドレス
- データ取得日時（1秒単位）
- 電波強度（強度が強いほど、Wi-Fiパケットセンサーの近くに機器があることを示す）

<取得データの例>

データ取得日時	機器名	ハッシュ化／匿名化後のMACアドレス	電波強度 (デジベル)
2016/10/1 0:00	r2-303	8004e0c5a5e1b2fe65578ad2698a4e41ac8a46ae	-84
2016/10/1 0:00	r2-303	0107d87dd579b502afb7aef8e148a1cbc2c6b639	-80
2016/10/1 0:00	r2-303	089e1937a4532565cdb56f2f4d91b692d117b5a1	-80
2016/10/1 0:00	r2-303	c17118ef5a472466384f6737f13ed675b3b1b864	-88



Wi-Fiセンサー外観



屋内の設置例
(那覇空港)



屋内の設置例
(モノレール駅)

6.Wi-Fiパケットセンサー設置箇所

■ 機材設置箇所

■ 機材設置施設：7施設（7台）



■ 機材番号及び設置箇所

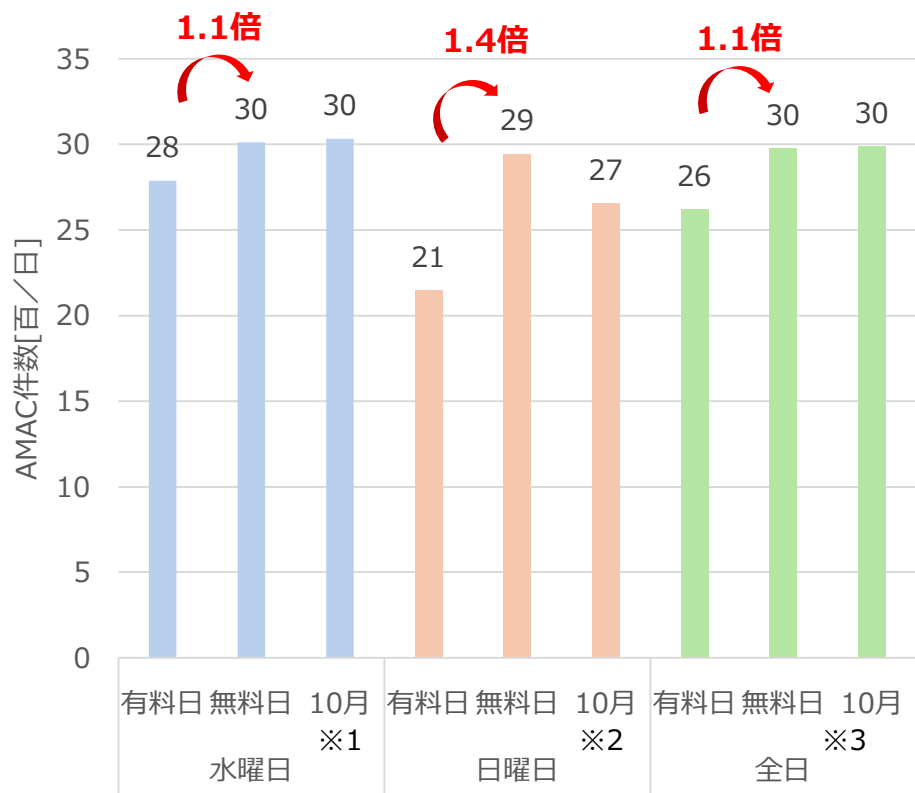
No	設置施設	設置箇所	初期設置	撤去時期
1	県議会棟		8/20	
2	イオンモール沖縄ライカム	北中城村観光協会	8/30	
3	沖縄市ミュージックタウン 音市場	3階スタジオロビー	9/2	
4	沖縄都市モノレール てだこ浦西駅	ホーム階	9/2	
5	沖縄都市モノレール おもろまち駅	ホーム階	9/2	
6	—	—	—	
7	名護バスターミナル	—	9/10	
8	名護市営市場	名護十字路	—	
9	—	—	—	
10	—	—	—	
11	—	—	—	

図 Wi-Fiパケットセンサー設置箇所

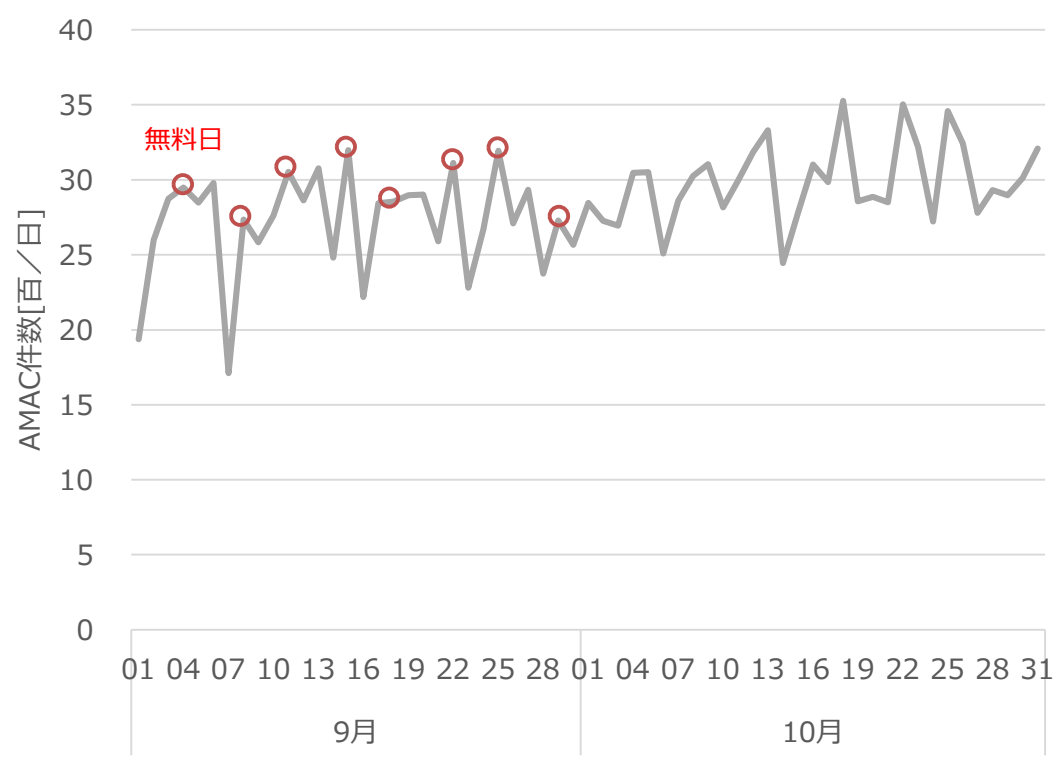
7.AMAC件数の変化 [県議会棟]

- 9月の有料日に対する無料日のAMAC件数は、全日平均で**1.1倍**増加した。
- 水曜日平均では**1.1倍**増加、日曜日平均では**1.4倍**増加しており、特に休日のバス利用が増加したと考えられる。

期間別ユニークAMAC件数



日別ユニークAMAC件数

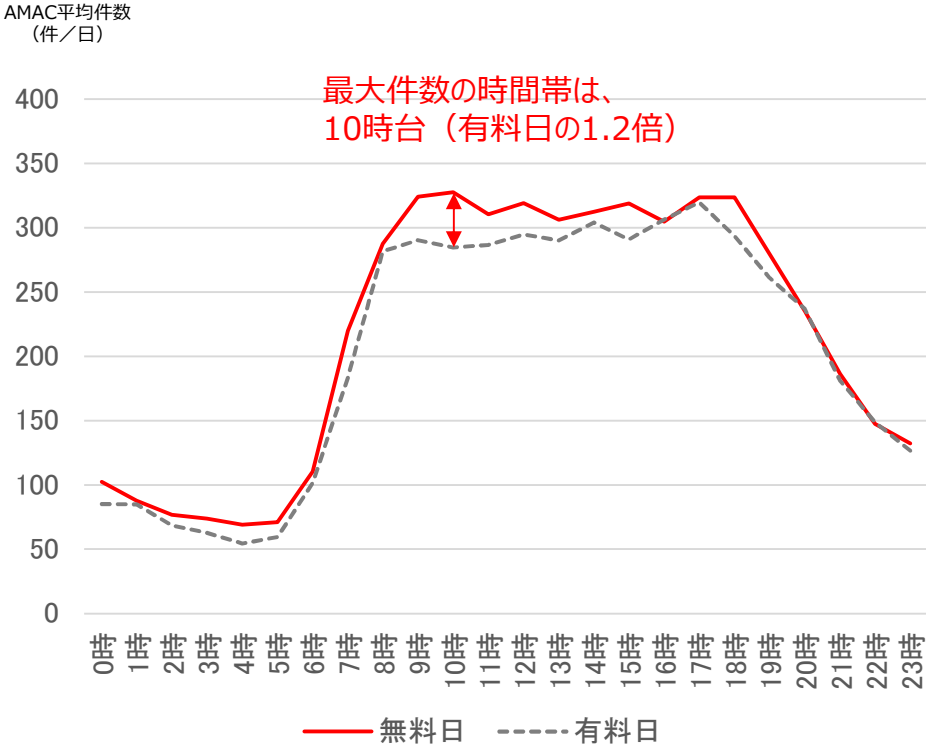


※1 【無料日】9/4、9/11、9/18、9/25の水曜日平均、【有料日】9/3、9/10、9/17、9/24の火曜日平均
※2 【無料日】9/8、9/15、9/22、9/29の日曜日平均、【有料日】9/1、9/16、9/23の日曜日平均
※3 【無料日】無用日8日間平均、【有料日】無料日以外の9月の22日間平均
10月、11月は同曜日平均

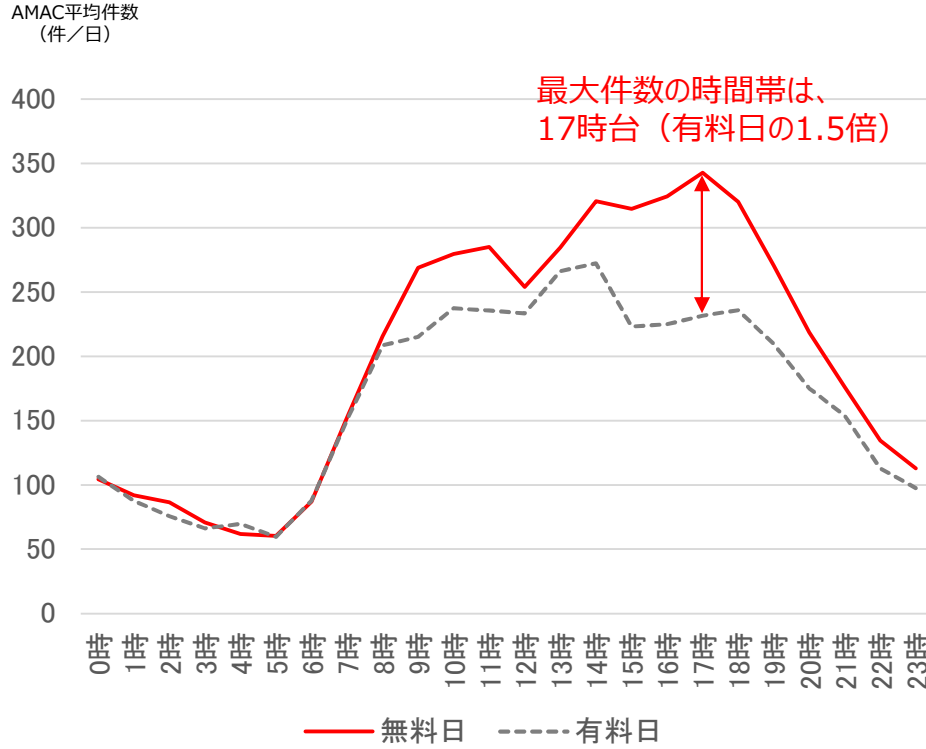
7.AMAC件数の変化 時間帯別 [県議会棟]

- 水曜日は、有料日と比較して無料日が、**午前**に件数が多くなっている。
- 日曜日は、**日中**にかけて無料日の件数が多くなっており、**特に夕方**の件数が多くなっている。

水曜日



日曜日



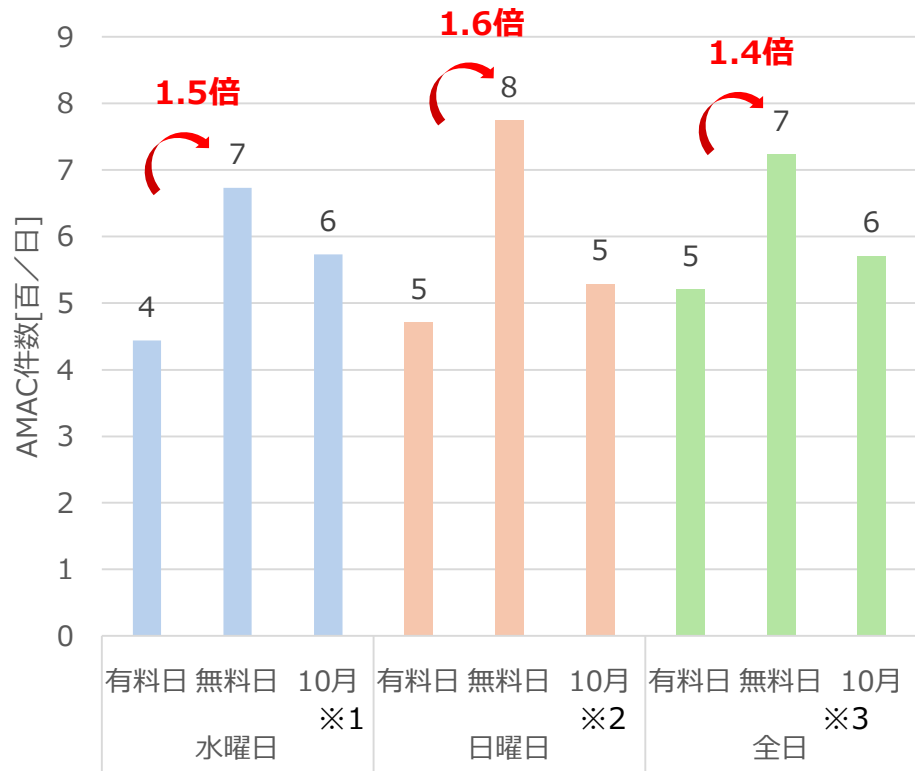
※1 【無料日】9/4、9/11、9/18、9/25の水曜日平均、【有料日】9/3、9/10、9/17、9/24の火曜日平均

※2 【無料日】9/8、9/15、9/22、9/29の日曜日平均、【有料日】9/1、9/16、9/23の日曜日平均

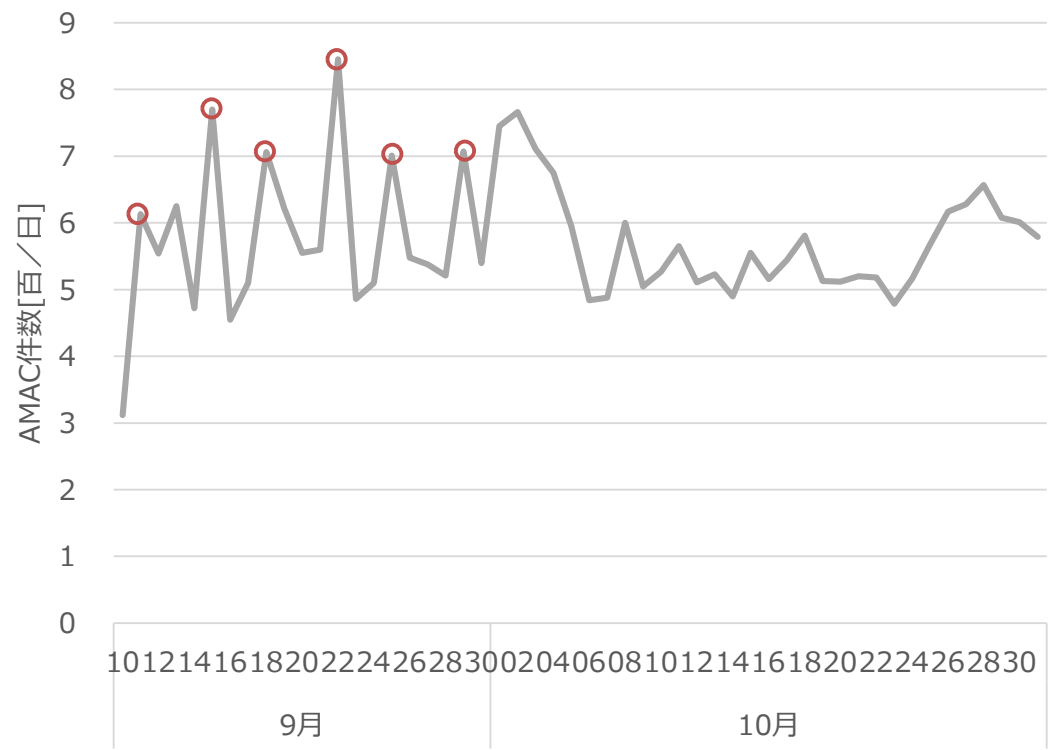
7.AMAC件数の変化 [名護バスターミナル]

- 9月の有料日に対する無料日のAMAC件数は、全日平均で**1.4倍**増加しており、バス利用が増加したと考えられる。
- 水曜日平均では**1.5倍**増加、日曜日平均では**1.6倍**増加した。

期間別ユニークAMAC件数



日別ユニークAMAC件数

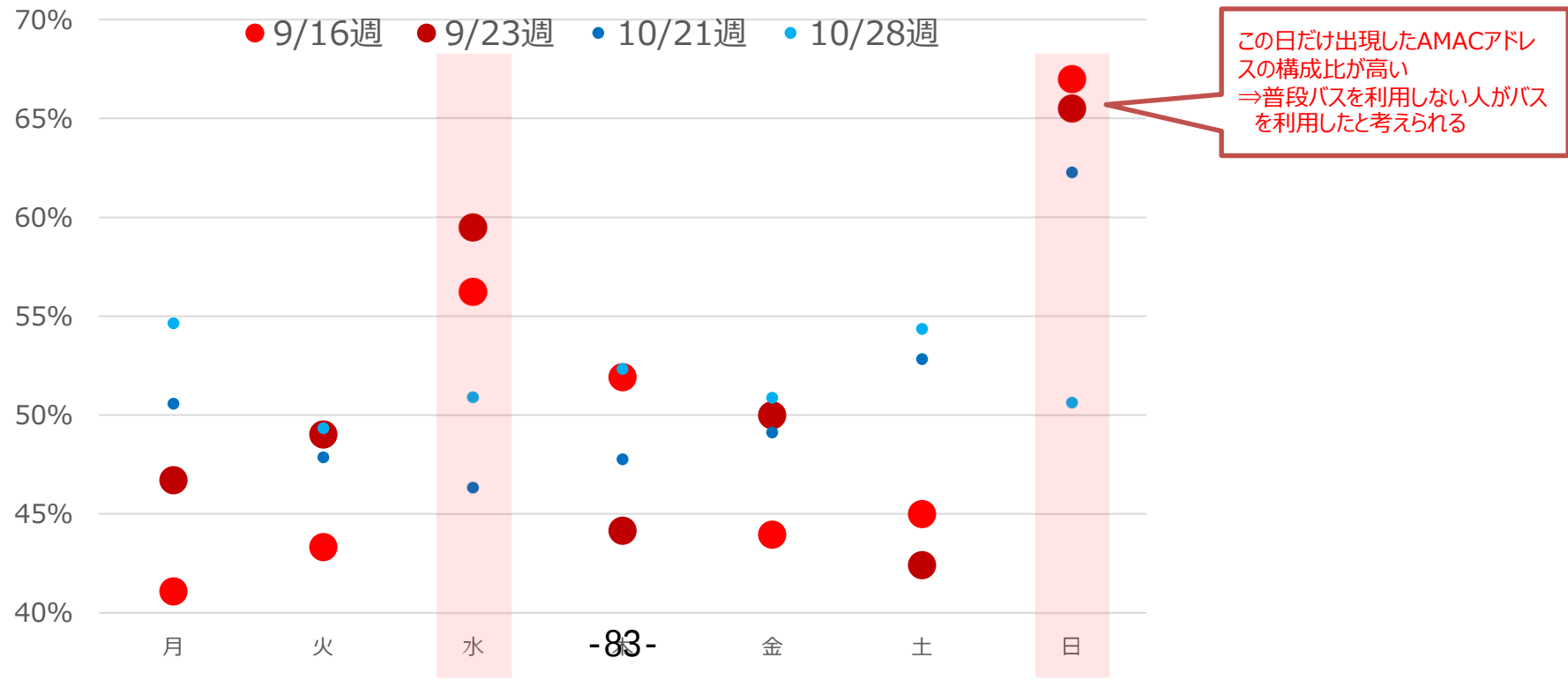


※1 【無料日】9/4、9/11、9/18、9/25の水曜日平均、【有料日】9/3、9/10、9/17、9/24の火曜日平均
※2 【無料日】9/8、9/15、9/22、9/29の日曜日平均、【有料日】9/1、9/16、9/23の日曜日平均
※3 【無料日】無用日8日間平均、【有料日】無料日以外の9月の22日間平均
10月、11月は同曜日平均

同一AMAC日数分布の変化 [名護バスターミナル]

- AMACアドレスは、1週間固定されるため、名護バスターミナルのセンサーに出現する同一AMACアドレスの日数分布を、1週間ごとに集計。
- 無料日を含む9/16週と9/23週では、水曜日と日曜日における1日/週利用のAMACアドレスの構成比が他の曜日と比べて増加しており、**普段バスを利用しない人がバスを利用したと考えられる。**
- 無料事業後の9/16週と9/23週では、週末にかけて増加傾向がみられる。

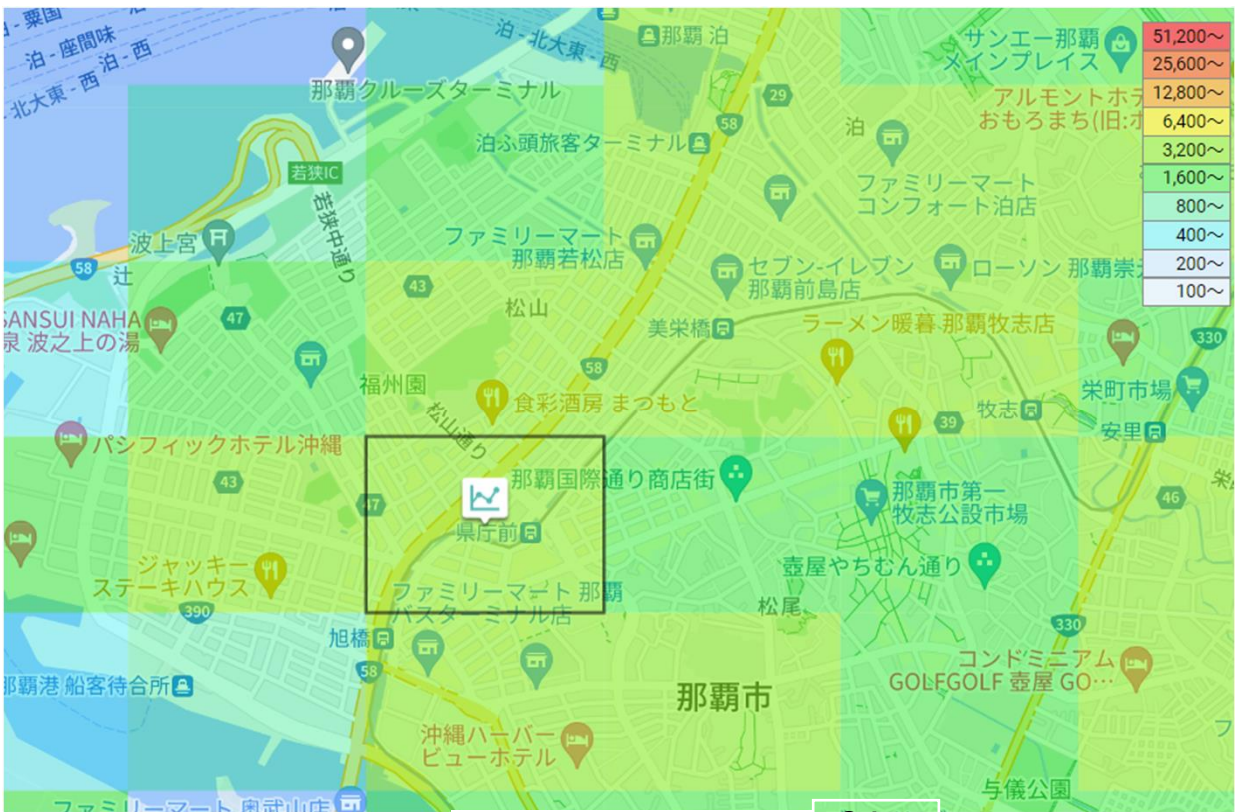
週に1度出現するAMACアドレスの構成比の変化



【中間報告】（精査の結果、変更の可能性あり）

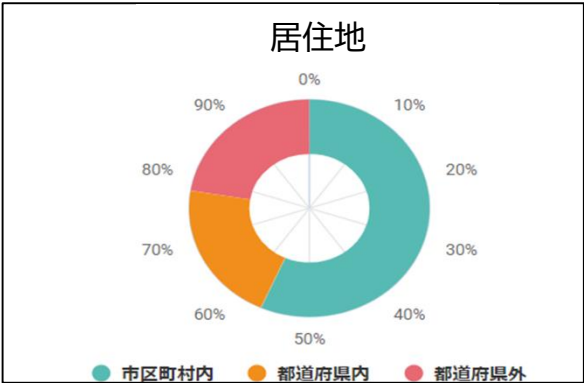
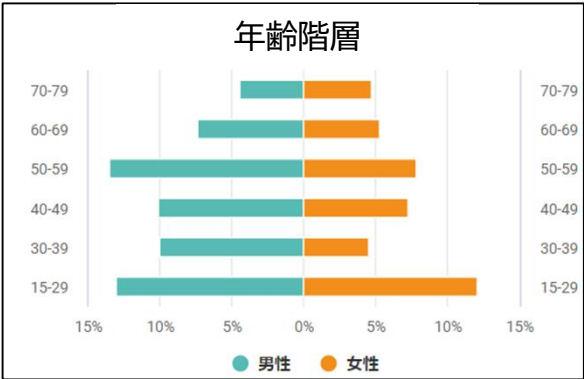
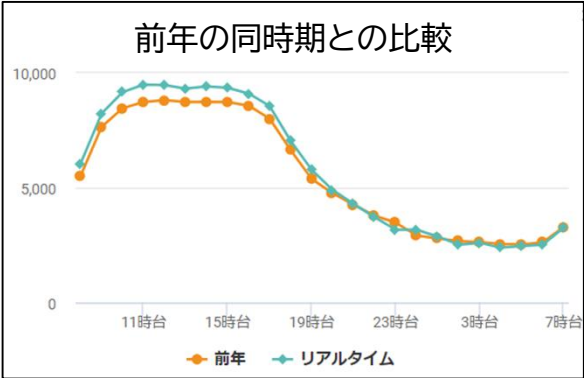
8. 滞留人口（モバイル空間統計）

- 経済の活性化の観点から、乗車体験事業により、出かける人が増え、人が多く集まる場所への滞留が増えているかを確認することを目的として、ドコモが提供している「モバイル空間統計」により、滞留人口の状況を把握した。
- 分析は、昨年度の同時期との比較、年齢階層別の違い、どこからエリアに来ているかを分析した。



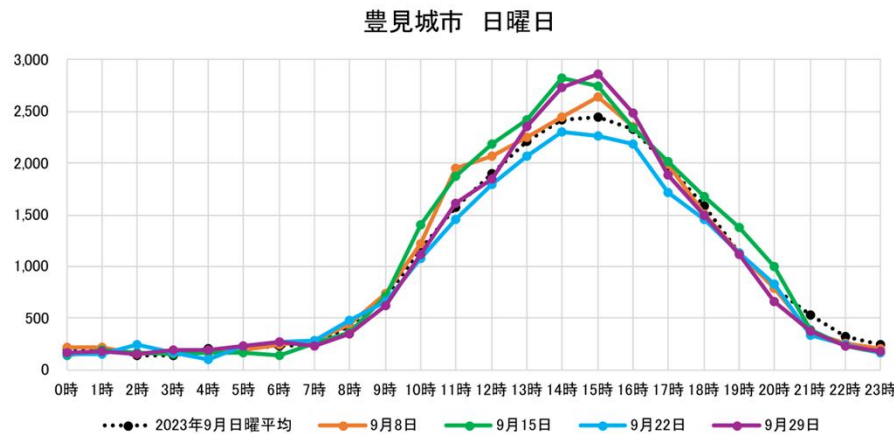
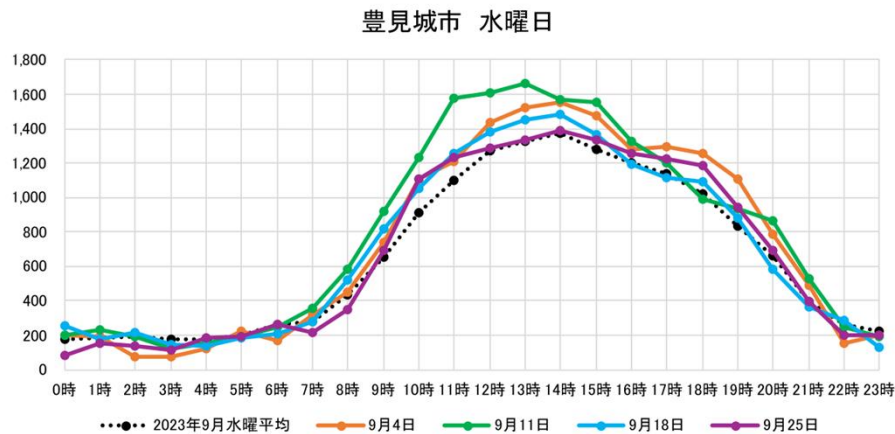
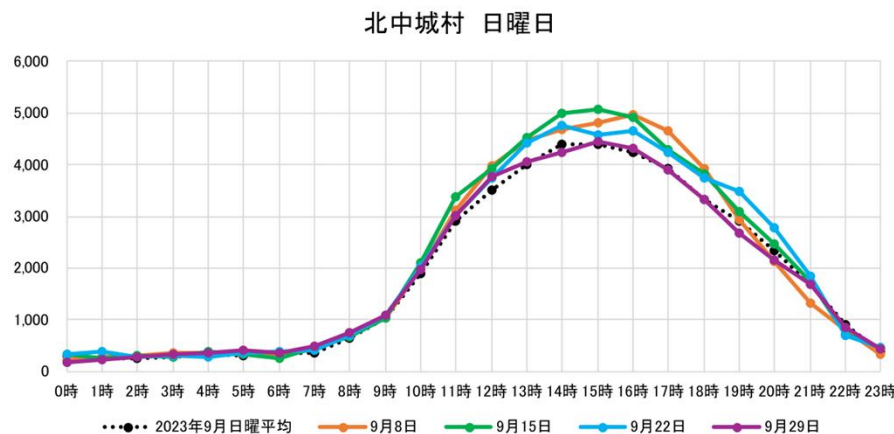
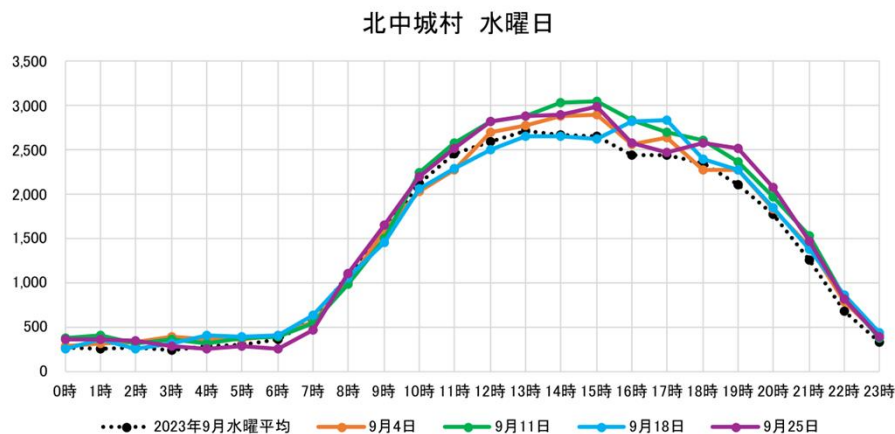
滞留意人口

分析例



8. 滞留人口（モバイル空間統計）の結果　－総数分析－

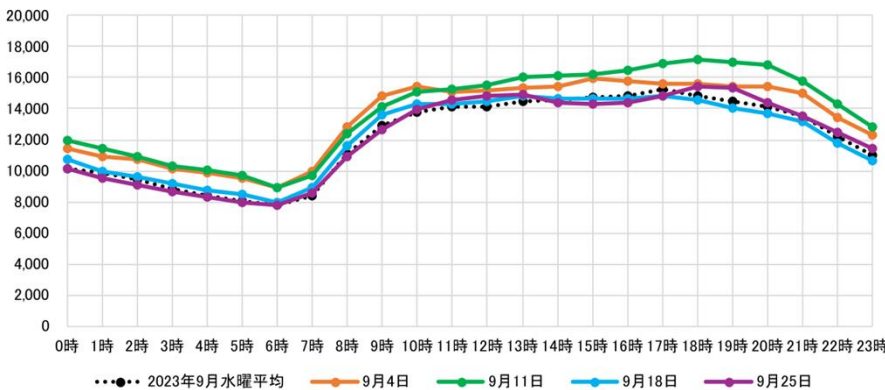
- 昨年度9月の滞留人口と比較すると、北中城村（ライカム周辺）、豊見城市（イース沖縄豊崎周辺）といった、大規模商業施設が立地するエリアにおいて、増加している傾向にあった



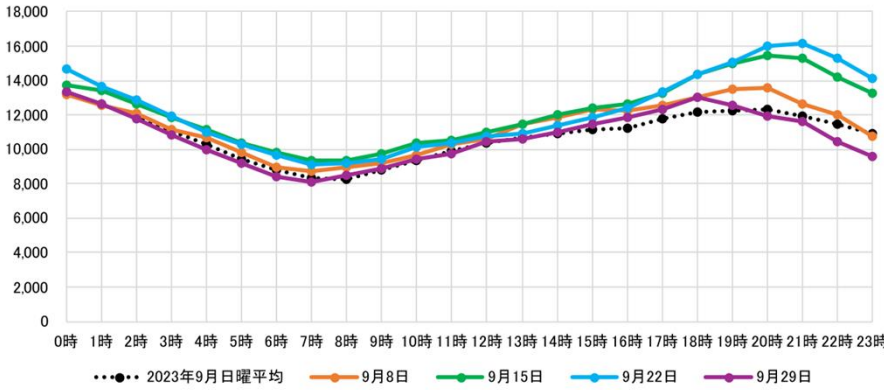
8. 滞留人口（モバイル空間統計）の結果 一年齢階層別分析ー

- 昨年度9月の滞留人口と比較すると、那覇市（中心市街地、副都心）においては、20歳代以下の滞留人口が、名護市（名護バスターミナル周辺）においては、高齢者（60歳代以上）の滞留人口が増加している傾向にあった
- 若者は那覇方面に、高齢者は郊外方面に移動している傾向が明らかになった

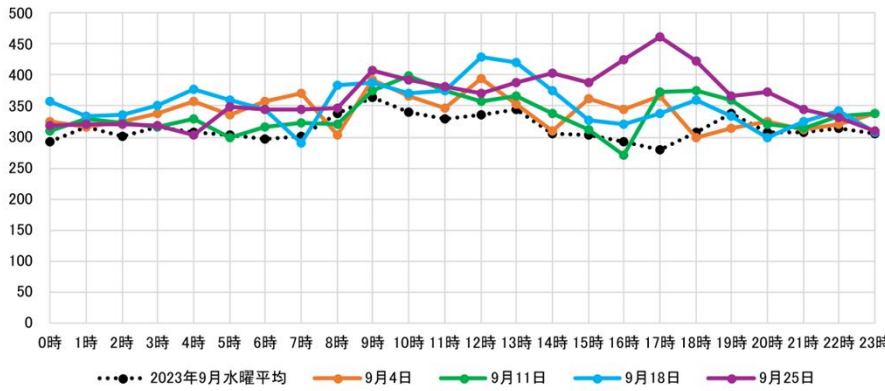
那覇市 20歳代以下 水曜日



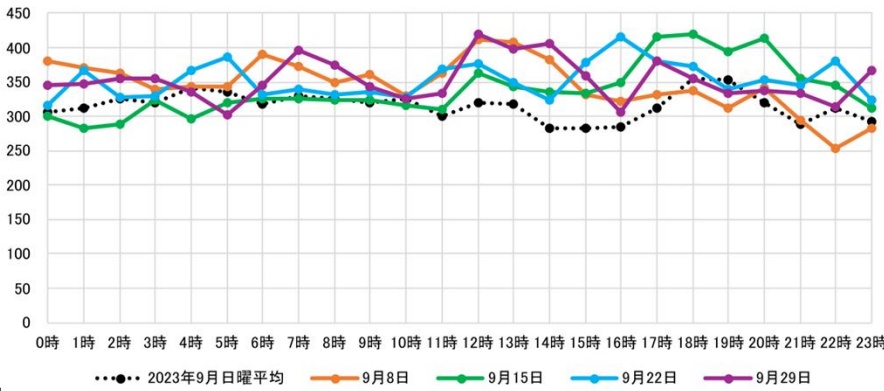
那覇市 20歳代以下 日曜日



名護市 60歳代以上 水曜日



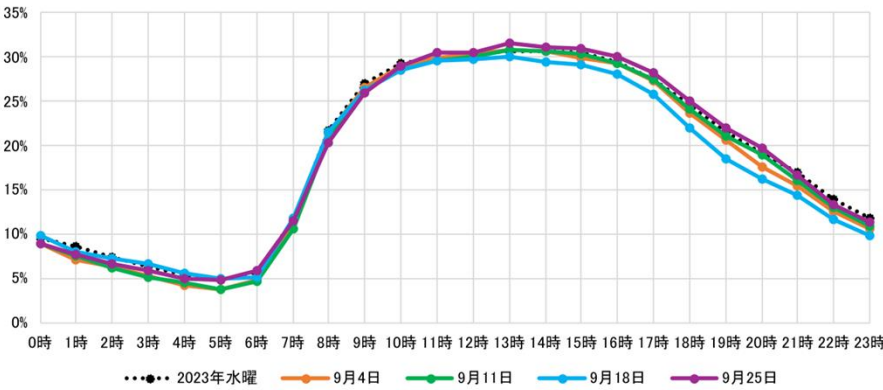
名護市 60歳代以上 日曜日



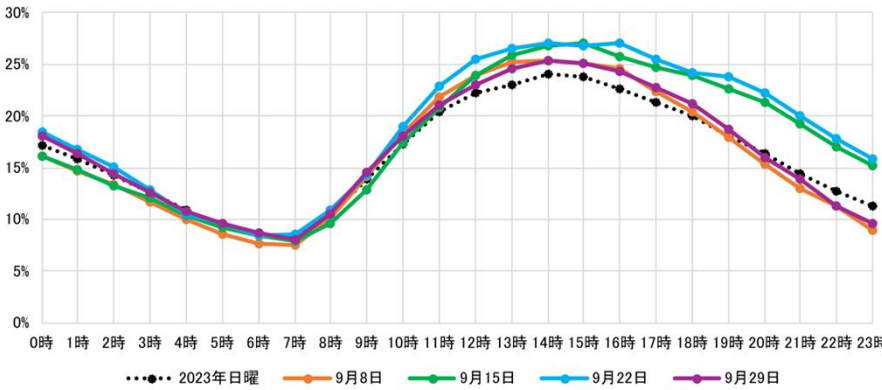
8. 滞留人口（モバイル空間統計）の結果ー滞留人口居住地分析ー

- 昨年度9月の滞留人口と比較すると、那覇市では、平日の割合にほとんど変化はないが、休日では、那覇市以外の市町村からの来訪者が増加している傾向がみられる。
- 名護市は、逆の傾向で、平日のほうが、名護市以外からの来訪者が増加している傾向がみられる。

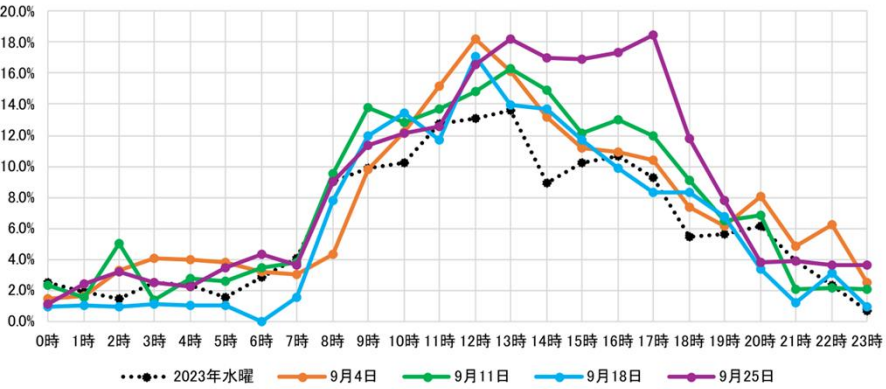
那覇市 那覇市以外居住者(県外除く)割合 水曜日



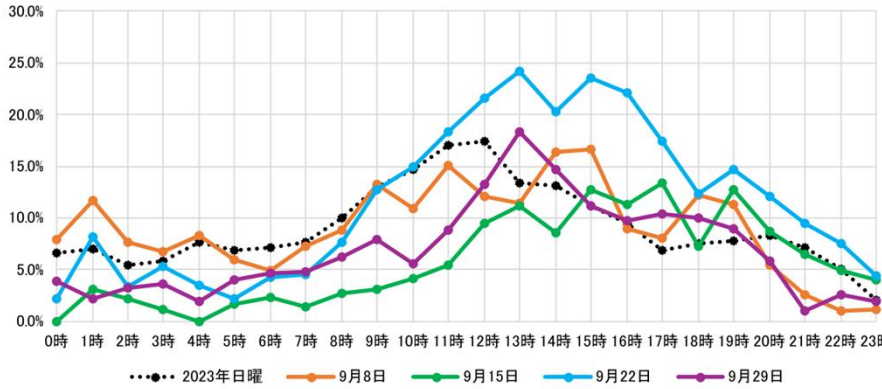
那覇市 那覇市以外居住者(県外除く)割合 日曜日



名護市 名護市以外居住者(県外除く)割合 水曜日



名護市 名護市以外居住者(県外除く)割合 日曜日



<全体的な傾向>

【中間報告】（精査の結果、変更の可能性あり）

- わった～バス利用促進乗車体験事業では、特に平日の高齢者および休日の若者の利用が促進されたと考えられる。

■バス乗降調査

- 平日無料日では高齢者の利用割合が増加し、休日では高校生及び中学生以下の利用割合が増加。

■利用者アンケート

- 自動車運転免許なしの10代と高齢者の乗車体験事業の継続意向が高い。
- 3割の方が自動車からバスに転換したと考えられる。

■交通量調査

- 水曜日、日曜日ともに、若干の交通量の減少は確認できたが、渋滞緩和効果は限定的の可能性はある。
- 日曜日の12時間交通量は三連休や天気等の条件によっては、渋滞緩和効果があった可能性はある。

■Wi-Fi調査+滞留人口調査

- 普段バスを利用しない人が名護まで行ったと想定される。
- 那覇市（中心市街地、副都心）においては、20歳代以下の滞留人口が増加傾向であり、名護市（名護バスターミナル周辺）においては、高齢者（60歳代以上）の滞留人口が増加している傾向であった。
- 若者は那覇方面に、高齢者は郊外方面に移動している傾向が明らかになった